

「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)  
結果とりまとめプレスリリース

資料1

# 関係人口の実態把握

---

令和3年3月17日  
国土政策局 総合計画課

# 目次

1. 関係人口とは	2
(1) 関係人口の定義及び分類	3
2. 地域への関心	5
(1) 地域活動への参加状況	6
(2) 関係人口に対する認知度	8
(3) 特定の地域と関わりのない人の関係人口への関心	9
3. マクロ的視点からみた関係人口(訪問系)	10
(1) 三大都市圏における関係人口の存在	11
(2) その他地域における関係人口の存在	12
(3) 関係人口(訪問系)の対流の状況	13
(4) 関係人口(訪問系)と移住の関係	19
(5) 関係人口(訪問系)直接寄与型の地域における過ごし方	25
4. 関係人口(訪問系)の拡大・深化に向けて	27
(1) 関係人口(訪問系)の訪問頻度と滞在期間	28
(2) 関係人口(訪問系)の動態性(当初→現在の過ごし方)	30
(3) 関係人口(訪問系)になったきっかけ	31
(4) 新型コロナウイルスが関係人口(訪問系)に及ぼした影響	33
(5) 関係人口(訪問系)が地域との関わりを深めるために必要な要素	34

# 1. 関係人口とは

# (1)関係人口の定義及び分類①

- 関係人口とは、移住や観光でもなく、単なる帰省でもない、日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域の課題の解決に資する人などのことである。
- 本報告では、関係人口を訪問系及び非訪問系に大別するとともに、関係人口（訪問系）の関わり先の地域における過ごし方（地域との関わり方）等を踏まえ、5つの大分類を定義している。

## 【関係人口(訪問系)】

日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人（単なる帰省などの地縁・血縁的な訪問者を除く）

### <大分類>地域における過ごし方に応じて分類（地域との結びつき度が強いものから説明）

#### 【直接寄与型】

産業の創出、商店街の空き店舗有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等

#### 【就労型（現地就労）】

地元の企業・事業所での労働（地域における副業）、農林漁業への就業、農林漁業者へのサポート（援農等）

#### 【就労型（テレワーク）】

本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）、訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業など）

#### 【参加・交流型】

地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加

#### 【趣味・消費型】

地縁・血縁先以外で、地域での飲食や趣味活動等を実施（他の活動をしていない）

## 【関係人口(非訪問系)】

ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン活用

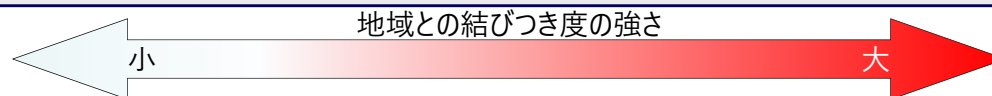
## (参考)

### 【地縁・血縁的な訪問者】

地縁・血縁先を訪問している人（帰省を含む、地縁・血縁先の訪問を主な目的として地域を訪れている人）、及び特定の生活行動や用務を行っている人

# (1)関係人口の定義及び分類②

○ 関係人口（訪問系）の分類の定義は以下のとおり。



関わり先の地域における 過ごし方の「小分類」	関わり先の地域における 過ごし方の「中分類」	関わり先の地域における 過ごし方の「大分類」					
		趣味・消費型	就労型 (テレワーク)	参加・交流型	就労型 (現地就労)		直接寄与型
			テレワーク等		現地就労+テレワーク等	現地就労	
【滞在場所の条件】 ・滞在場所に「自分、家 族が所有等する物件」・ 「親族が所有等する物 件」を含まないもの	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし		
地域のまちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等	地域づくりの企画への参加	×	×	×	×	×	●
地域に新たな仕事(産業)を創出するなどの活動への参加		×	×	×	×	×	●
地域でのボランティアや共助活動への参加		×	×	×	×	×	●
農地、水路、森林等の地域資源の共同保全活動への参加	地域保全活動への参加	×	×	×	×	×	●
まちなみ保全などの共同活動への参加		×	×	×	×	×	●
商店街の空き店舗有効活用に関する活動への参加	空き店舗や朝市等の利活用	×	×	×	×	×	●
朝市・マルシェへの出店に関する活動への参加		×	×	×	×	×	●
地元企業・事業所での労働(地域における副業)	地域内産業活動への参加	×	×	×	●	●	△
農林漁業への就業	(現地就労)	×	×	×	●	●	△
農林漁業者のサポート(援農等)		×	×	×	●	●	△
祭りや地域体験プログラム等への参加		×	△	●	△	△	△
教養・学習の場への参加	イベント等地域交流への参加	×	△	●	△	△	△
地域の交流拠点などで開発されるプロジェクトやコミュニティへの主体的な参加		×	△	●	△	△	△
地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる		×	△	●	△	△	△
本業として普段行っている業務や仕事(テレワークなど)	地域外産業活動への参加	×	●	×	●	×	△
訪問地域外の業務や仕事(テレワーク/副業など)	(テレワーク/副業)	×	●	×	●	×	△
地域において友人や知人との交流・コミュニケーションを楽しむ		△又は▲	△	△	△	△	△
地域ならではの飲食や買い物(地場産品の購入等)	趣味・消費活動または 友人・知人との交流への参加	●	△	△	△	△	△
自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動		●	△	△	△	△	△
市民農園・農業体験農園への参加		●	△	△	△	△	△
自家消費農業等の取組		●	△	△	△	△	△
墓参、家族・親族等の世話、面会、同窓会等	自己の用務	●	△	△	△	△	△
自己の用務、生活行動等(日常的な買物、飲食、通院、生活サービス享受等)		●	△	△	△	△	△
ふるさと納税によって、地域を継続的に応援	非訪問の活動を実施	△	△	△	△	△	△
クラウドファンディングによって、地域を継続的に応援		△	△	△	△	△	△
地場産品等を購入することにより、地域を定期的・継続的に応援		△	△	△	△	△	△
遠隔で地域のために仕事を受け負い		△	△	△	△	△	△
SNS等で地域の情報発信を行い応援		△	△	△	△	△	△
オンライン(zoom、Slack等)を活用して、地域と継続的に関わっている		△	△	△	△	△	△
地域から応援・支援を受ける等の交流を行っている		△	△	△	△	△	△

※●：いずれか必ず含む、△：含まれても含まれていなくてもよい、▲：当該過ごし方（又は非訪問の過ごし方）のみでもよい、×：含まない  
 ※関係人口（訪問系）以外の分類（地縁・血縁的な訪問者等）の詳細な設定方法は補足資料で整理

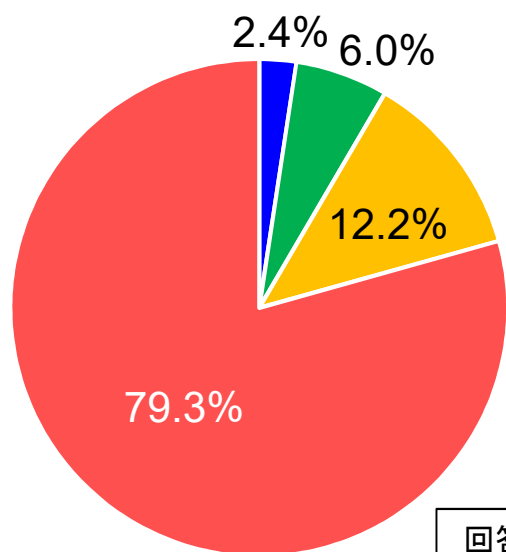
## 2. 地域への関心

# (1)地域活動への参加状況 - 全体 -

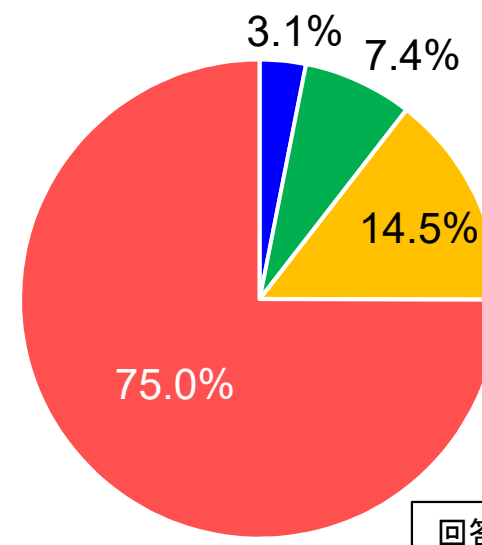
- アンケート回答者の居住地における地域活動への参加状況は、三大都市圏居住者では、約8割の人が「参加したことはない」と回答しており、その他地域居住者でも約7割強の人が同様に「参加したことはない」と回答している。居住地による参加状況に大きな違いは生じていない。
- 地域づくりを進めていくためには、居住者を巻き込むことが重要であり、地域づくりに参加したことがない人に参加を促す必要がある。

## ■ 地域活動への参加状況【新型コロナウイルス感染症拡大直前】

三大都市圏居住者



その他地域居住者



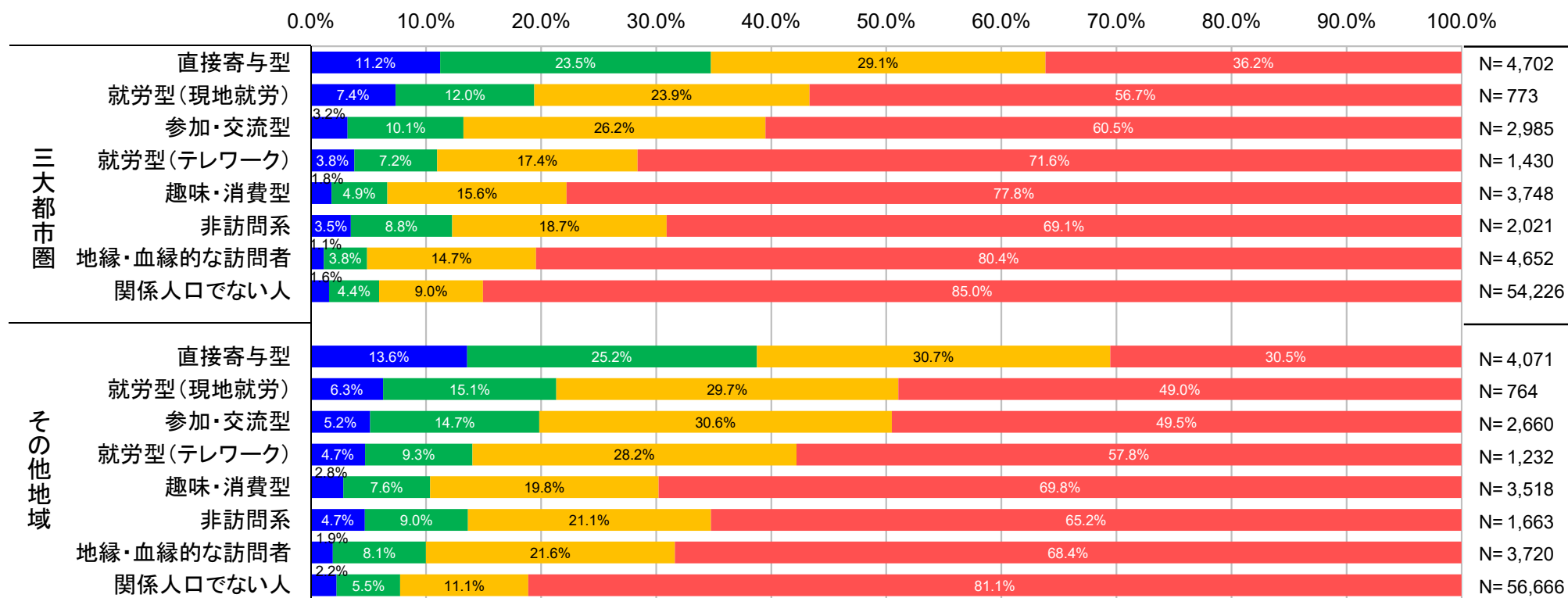
- 1. 地域活動の主体(団体等の事務局など)として実施していた
- 2. 定期的または継続的な活動に参加していた
- 3. 活動に参加する(した)ことがあった
- 4. 参加したことはない

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、1次調査回答者人数ベース

# (1)地域活動への参加状況 — 関係人口等の分類別 —

○ 地域との結びつき度が強い人ほど地域活動に参加したことがあると回答した割合が大きい。

## ■ 地域活動への参加状況



- 1.地域活動の主体(団体等の事務局など)として実施していた
- 2.定期的または継続的な活動に参加していた
- 3.活動に参加する(した)ことがあった
- 4.参加したことはない

回答者総数: 148,831人

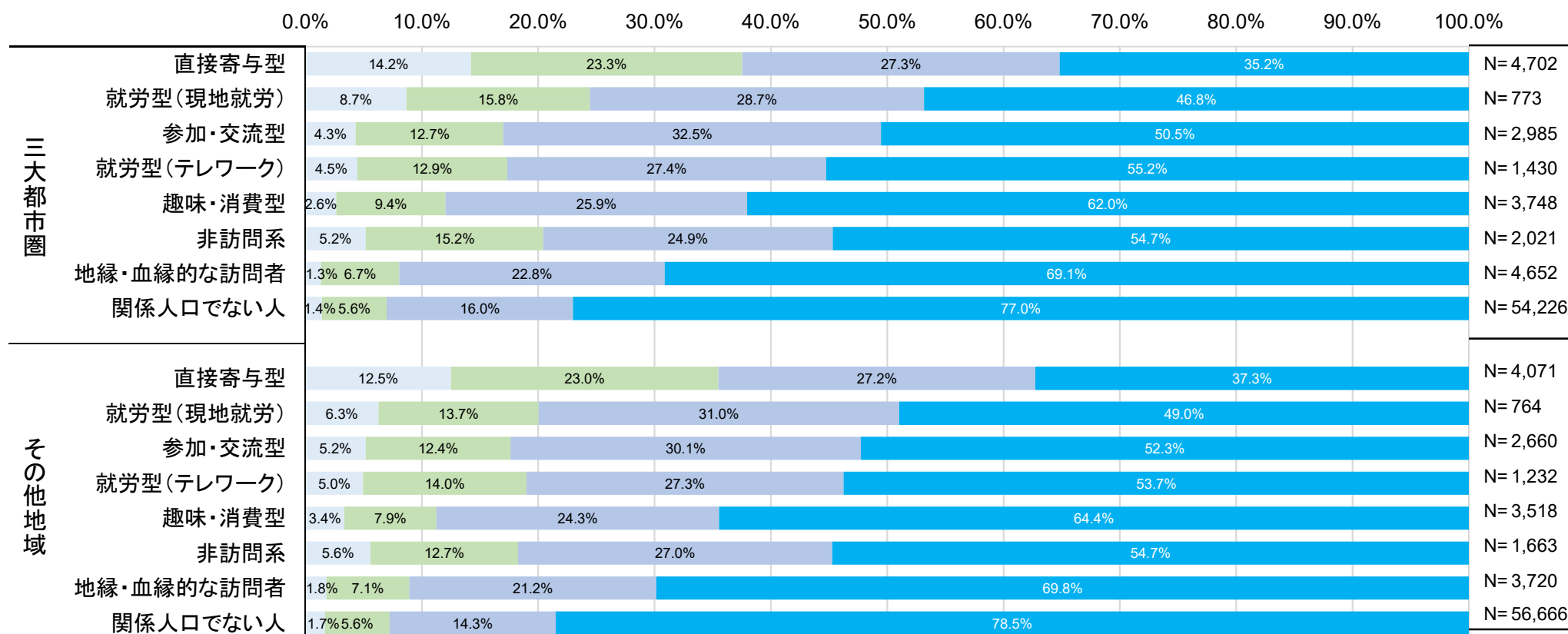
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、1次調査回答者人数ベース



## (2) 関係人口に対する認知度

- 三大都市圏居住者及びその他地域居住者ともに、地域との結びつき度が高い人ほど関係人口に対する認知度が高く、その中でも関係人口（訪問系）直接寄与型の約4割が「定義や考え方など、おおむね知っている」又は「言葉は聞いたことがあるが、詳しくはわからない」と回答している。

### 関係人口の認知度



- 定義や考え方など、おおむね知っている
- 言葉は聞いたことがあるが、詳しくはわからない
- 聞いたことはないが、なんとなくイメージできる
- 特に聞いたこともないし、よくわからない

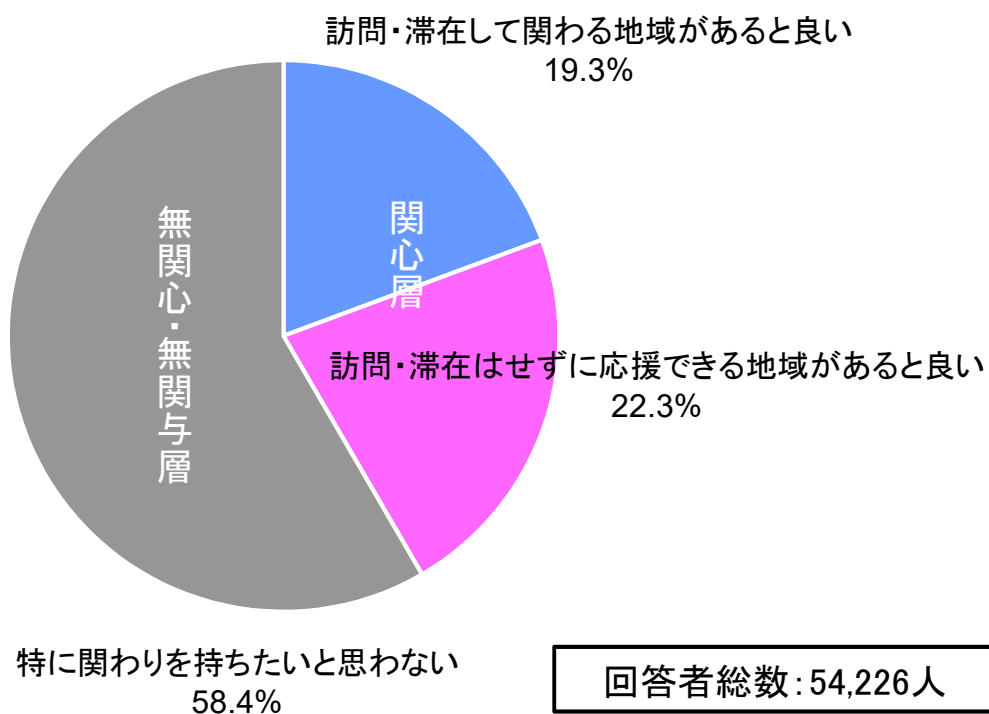
回答者総数: 148,831人

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、1次調査回答者人数ベース

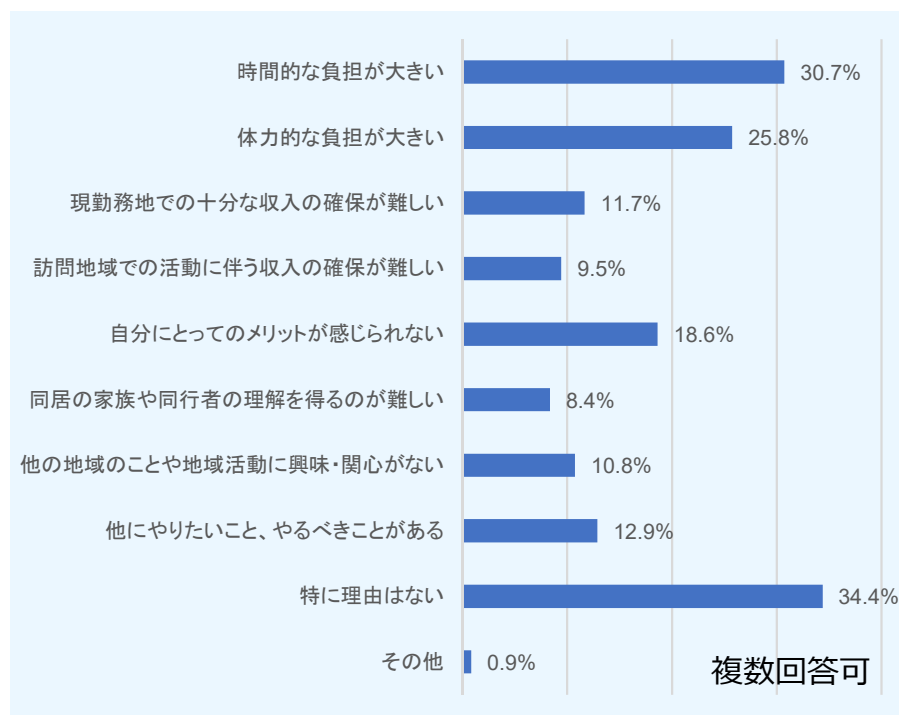
### (3)特定の地域と関わりのない人の関係人口への関心

- 特定の地域と関わりのない人に対して、居住地等以外への関わりの希望を確認したところ、「訪問・滞在して関わる地域があると良い」と回答した人は、約19%であった。
- また、「訪問・滞在はせずに応援できる地域があると良い」と回答した人は、約22%であり、居住地等以外と何らかの関係を求めている人が約4割存在している。
- 一方で、「特に関わりを持ちたいと思わない」と回答した人が約6割存在している。

#### 特定の地域と関わりのない人の居住地等以外への関わりの希望(三大都市圏居住者)



#### 「滞在しない」、「特に関わりを持ちたいと思わない」理由



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、三大都市圏居住者で関係人口以外の人

### 3. マクロ的視点からみた関係人口（訪問系）

# (1)三大都市圏における関係人口の存在

○ 三大都市圏の18歳以上の居住者（約4,678万人）のうち、約18%（約861万人）が関係人口として、日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域を訪問している。【新型コロナウイルス感染症拡大直前】

## 推計の概要

- 三大都市圏に居住する約7.5万人に対してインターネットアンケートを実施（18歳以上の男女、74,579人が有効回答）
- 調査対象地域の18歳以上の人口（約4,678万人）に基づき、男女比率及び年齢構成（4年齢区分）を踏まえて母集団拡大推計を実施

## 用語の定義

### 【関係人口(訪問系)】

日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人（単なる帰省などの地縁・血縁的な訪問者を除く）

### <大分類>地域における過ごし方に応じて分類

#### 【直接寄与型】

産業の創出、商店街の空き店舗有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等

#### 【就労型（現地就労）】

地元の企業・事業所での労働（地域における副業）、農林漁業への就業、農林漁業者へのサポート（援農等）

#### 【就労型（テレワーク）】

本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）、訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業など）

#### 【参加・交流型】

地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加

#### 【趣味・消費型】

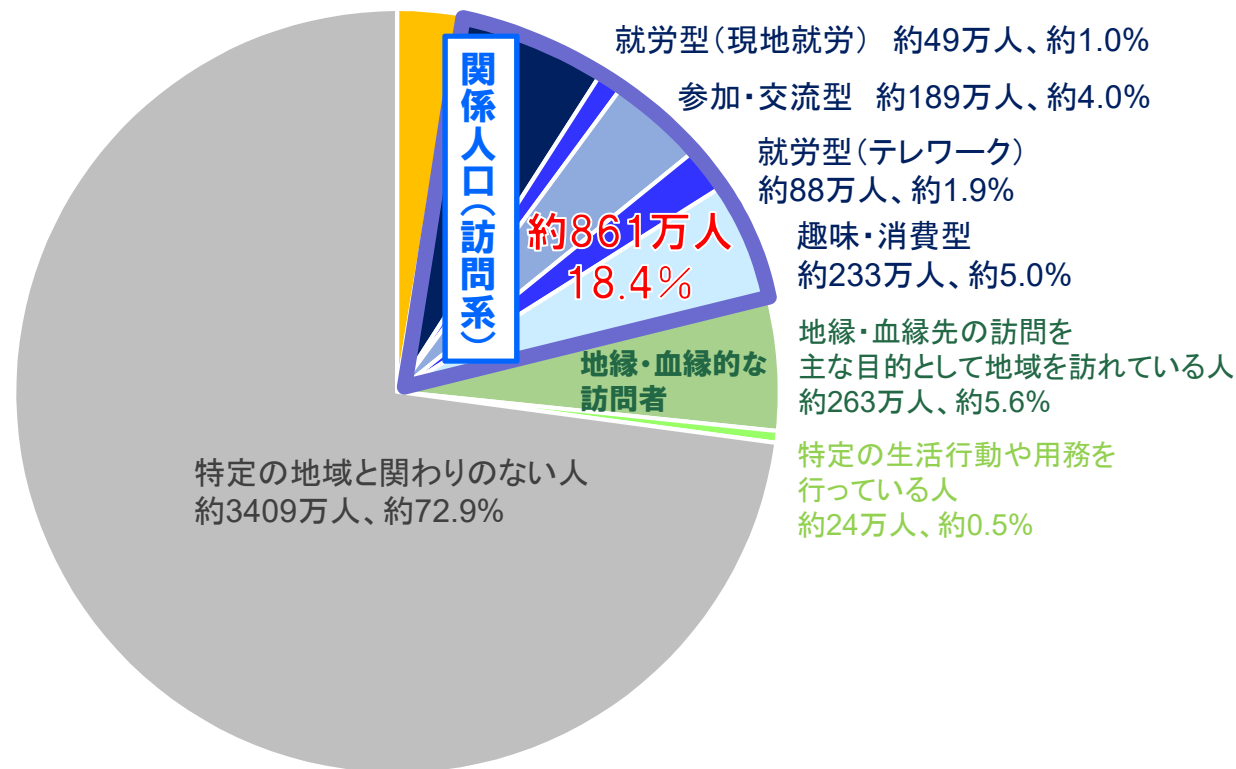
地縁・血縁先以外で、地域での飲食や趣味活動等を実施（他の活動をしていない）

### 【関係人口(非訪問系)】

ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン活用

## 三大都市圏居住者の日常生活圏、通勤圏以外の地域との関わりの状況

関係人口(非訪問系)  
約123万人、約2.6%



※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、三大都市圏居住者 (人数ベース)

## (2) その他地域における関係人口の存在

- その他地域の18歳以上の居住者（約5,937万人）のうち、約16%（約966万人）が関係人口として、日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域を訪問している。【新型コロナウイルス感染症拡大直前】

### 推計の概要

- その他地域に居住する約7.5万人に対してインターネットアンケートを実施（18歳以上の男女、74,252人が有効回答）
- 調査対象地域の18歳以上の人口（約5,937万人）に基づき、男女比率及び年齢構成（4年齢区分）を踏まえて母集団拡大推計を実施

### 用語の定義

#### 【関係人口(訪問系)】

日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人（単なる帰省などの地縁・血縁的な訪問者を除く）

#### <大分類> 地域における過ごし方に応じて分類

##### 【直接寄与型】

産業の創出、商店街の空き店舗有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等

##### 【就労型（現地就労）】

地元の企業・事業所での労働（地域における副業）、農林漁業への就業、農林漁業者へのサポート（援農等）

##### 【就労型（テレワーク）】

本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）、訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業など）

##### 【参加・交流型】

地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加

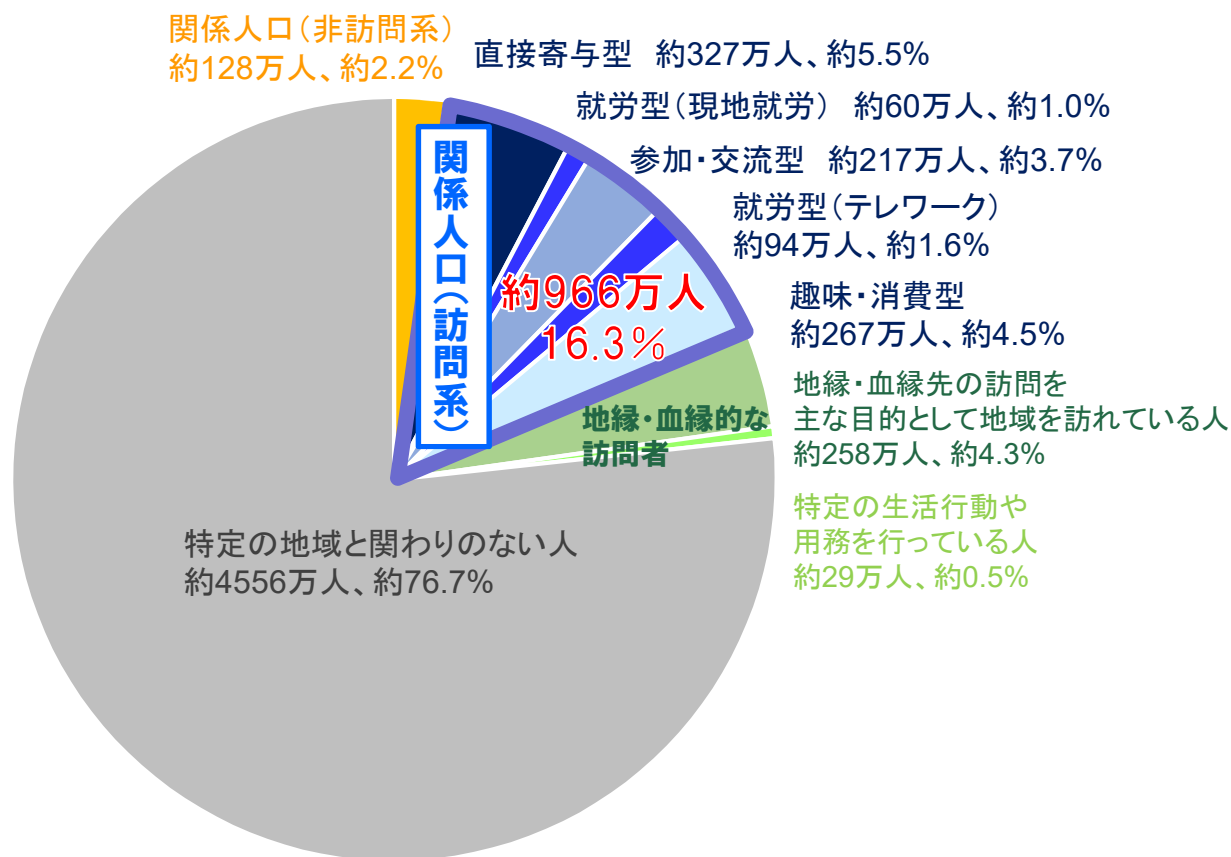
##### 【趣味・消費型】

地縁・血縁先以外で、地域での飲食や趣味活動等を実施（他の活動をしていない）

#### 【関係人口(非訪問系)】

ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン活用

### その他地域居住者の日常生活圏、通勤圏以外の地域との関わりの状況



※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある

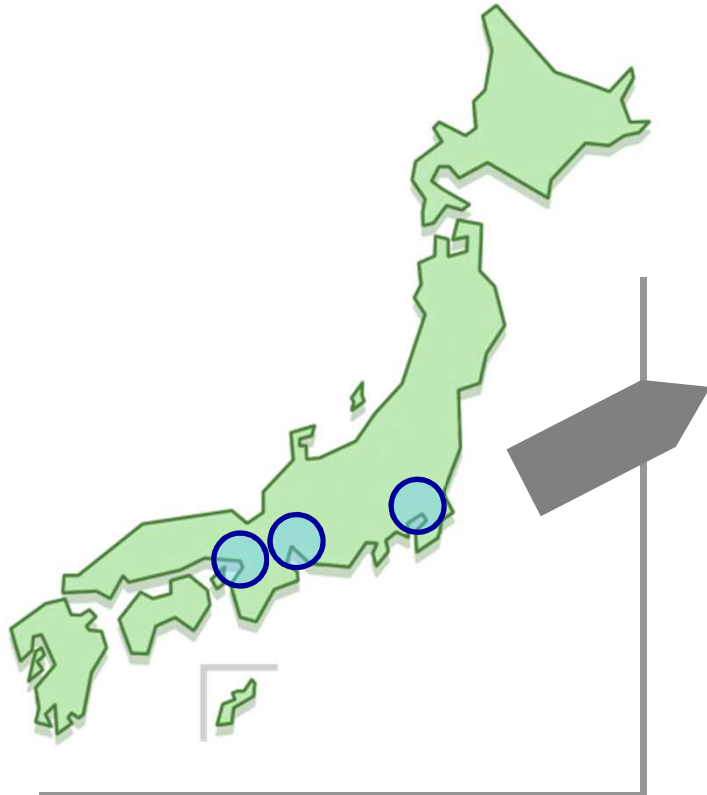
# (3) 関係人口(訪問系)の対流の状況

## － 関係人口(訪問系)の流動(人数ベース) －

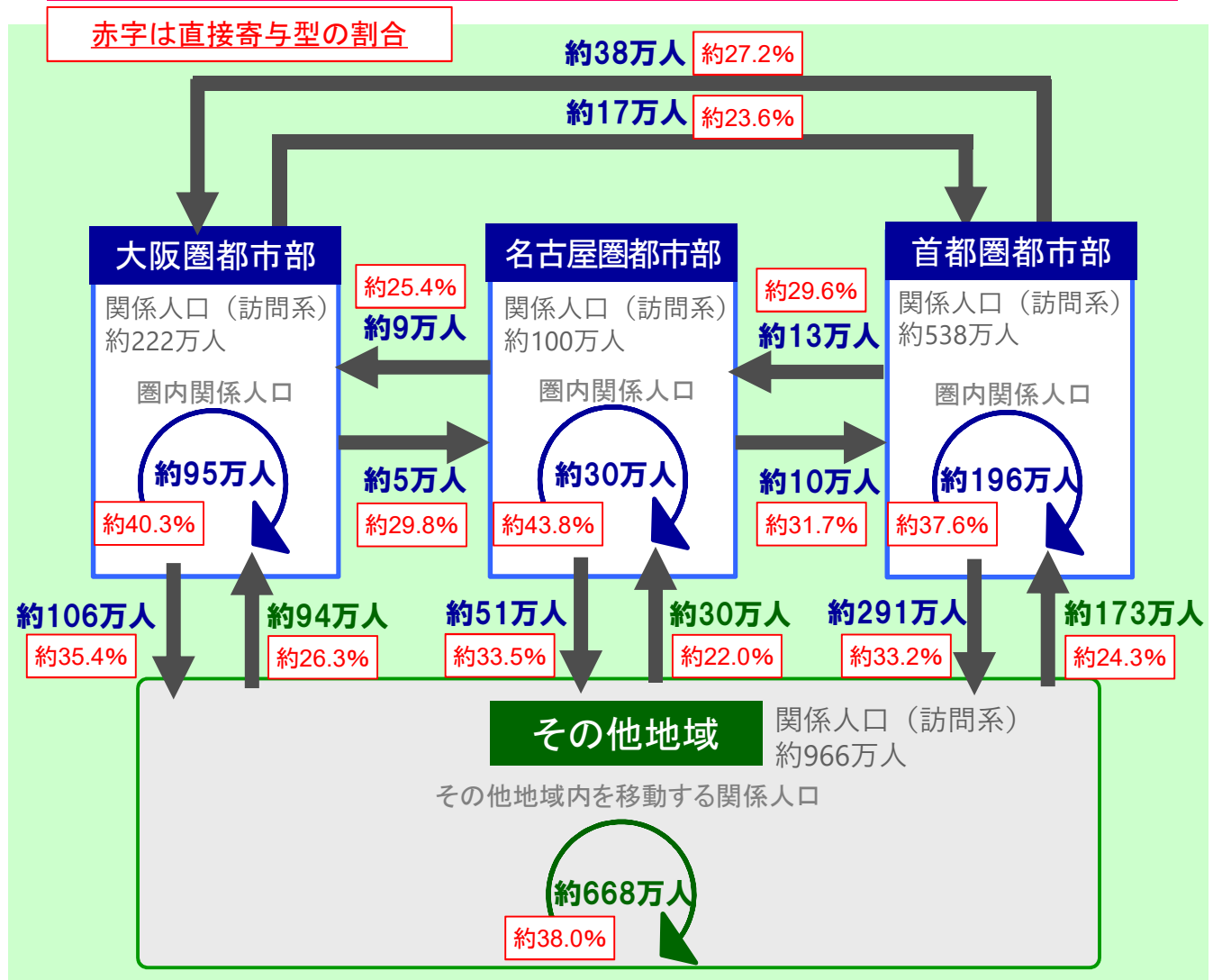
全国の関係人口(訪問系)は約1,827万人と推計

- 地方部(その他地域)から三大都市圏への流動よりも、三大都市圏から地方部(その他地域)への流動の方が大きい。
- 同一圏内に関わる関係人口及び三大都市圏から地方部(その他地域)に関わる関係人口については、直接寄与型の割合が大きくなっている。

【新型コロナウイルス感染症拡大直前】



### 三大都市圏とその他地域間の関係人口(訪問系)の流動



※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある

# (3)関係人口(訪問系)の対流の状況

## －ブロック間の関係人口(訪問系)の流動(人数ベース)－

- 同一ブロック内での流動が多く、次いで隣接ブロック間での流動が多い傾向にある。
- 東北圏に関わり先を持つ関係人口(訪問系)は、直接寄与型の割合が他ブロックと比較して大きい。

### ブロック間の関係人口(訪問系)の流動

関係人口(訪問系) 計 人数ベース (万人)	関わり先													計 (万人)	
	北海道	東北圏	首都圏		北陸圏	中部圏		近畿圏		中国圏	四国圏	九州圏	沖縄県		
			都市部	その他		名古屋圏 都市部	その他	大阪圏 都市部	その他						
北海道	34	5	11	1	1	1	1	1	2	0.2	1	0.2	1	1	59
東北圏	5	88	32	8	2	1	5	3	1	1	0.1	2	0.2	150	
首都圏	都市部	23	71	196	63	11	13	47	38	10	18	9	33	7	538
	その他	3	15	44	53	1	1	8	4	2	2	1	4	1	139
北陸圏	1	2	6	2	19	2	2	5	1	1	0.3	1	0.1	40	
中部圏	名古屋圏都市部	2	4	10	2	3	30	28	9	3	3	1	4	0.4	100
	その他	3	6	30	8	3	20	57	10	4	2	1	3	1	147
近畿圏	大阪圏都市部	4	7	17	4	6	5	11	95	33	17	10	13	2	222
	その他	1	2	5	1	2	2	4	32	25	4	2	2	0.5	81
中国圏	1	2	12	1	1	1	2	13	3	50	3	8	0.4	99	
四国圏	0.3	1	5	0.4	0.2	1	1	9	2	6	22	1	0.4	50	
九州圏	2	4	24	2	1	2	2	13	1	8	2	119	2	183	
沖縄県	0.3	1	4	0.3	0.3	0.1	1	2	0.3	0.2	0.3	2	6	18	
計	79	208	397	146	50	77	168	236	85	114	52	193	22	1,827	

※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある  
 ※ 四捨五入の結果、1未満となるものについては、小数点以下第一位まで表示

直接寄与型の割合 人数ベース	関わり先													計 (万人)	
	北海道	東北圏	首都圏		北陸圏	中部圏		近畿圏		中国圏	四国圏	九州圏	沖縄県		
			都市部	その他		名古屋圏 都市部	その他	大阪圏 都市部	その他						
北海道	37.7%	42.2%	26.3%	68.9%	-	19.6%	31.6%	25.4%	-	-	-	-	-	35.6%	
東北圏	35.1%	38.0%	21.3%	35.5%	46.0%	35.4%	31.6%	35.6%	-	36.6%	-	42.9%	-	34.0%	
首都圏	都市部	33.6%	38.9%	37.6%	33.2%	29.5%	29.6%	27.3%	27.2%	40.4%	30.1%	33.3%	30.7%	30.2%	34.3%
	その他	45.0%	41.1%	25.9%	38.9%	-	-	29.0%	24.8%	37.9%	29.3%	21.6%	48.0%	52.7%	34.1%
北陸圏	-	43.3%	20.6%	33.8%	41.8%	16.9%	32.3%	20.6%	-	-	-	-	-	34.0%	
中部圏	名古屋圏都市部	43.5%	51.3%	31.7%	25.1%	32.9%	43.8%	33.9%	25.4%	20.2%	31.3%	-	36.0%	-	35.6%
	その他	51.2%	48.5%	24.2%	27.2%	34.7%	24.5%	39.0%	27.5%	31.6%	39.3%	-	30.5%	-	32.6%
近畿圏	大阪圏都市部	35.1%	51.0%	23.6%	40.5%	26.7%	29.8%	33.0%	40.3%	37.7%	30.9%	30.8%	38.2%	15.7%	36.5%
	その他	47.8%	35.6%	22.8%	-	26.7%	15.6%	39.6%	26.0%	42.0%	29.8%	33.1%	40.6%	-	32.4%
中国圏	37.3%	65.1%	21.5%	32.7%	53.5%	11.1%	29.8%	20.2%	31.9%	39.8%	41.3%	27.1%	-	33.5%	
四国圏	-	92.6%	27.6%	-	-	-	42.1%	32.5%	30.1%	38.5%	39.1%	50.7%	-	37.2%	
九州圏	34.4%	39.8%	27.3%	23.9%	-	14.9%	34.7%	23.4%	25.3%	34.9%	13.5%	37.6%	17.4%	34.2%	
沖縄県	-	-	20.6%	-	-	-	-	54.8%	-	-	-	21.6%	46.7%	33.1%	
計	37.0%	40.2%	31.0%	35.1%	36.4%	32.1%	33.4%	32.0%	37.7%	35.7%	34.0%	36.0%	31.8%	34.4%	

※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある  
 ※ ブロック間の関係人口の流動が1万人未満の場合、統計的妥当性が確保できないため、直接寄与型の割合は「-」表示

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、人数ベース

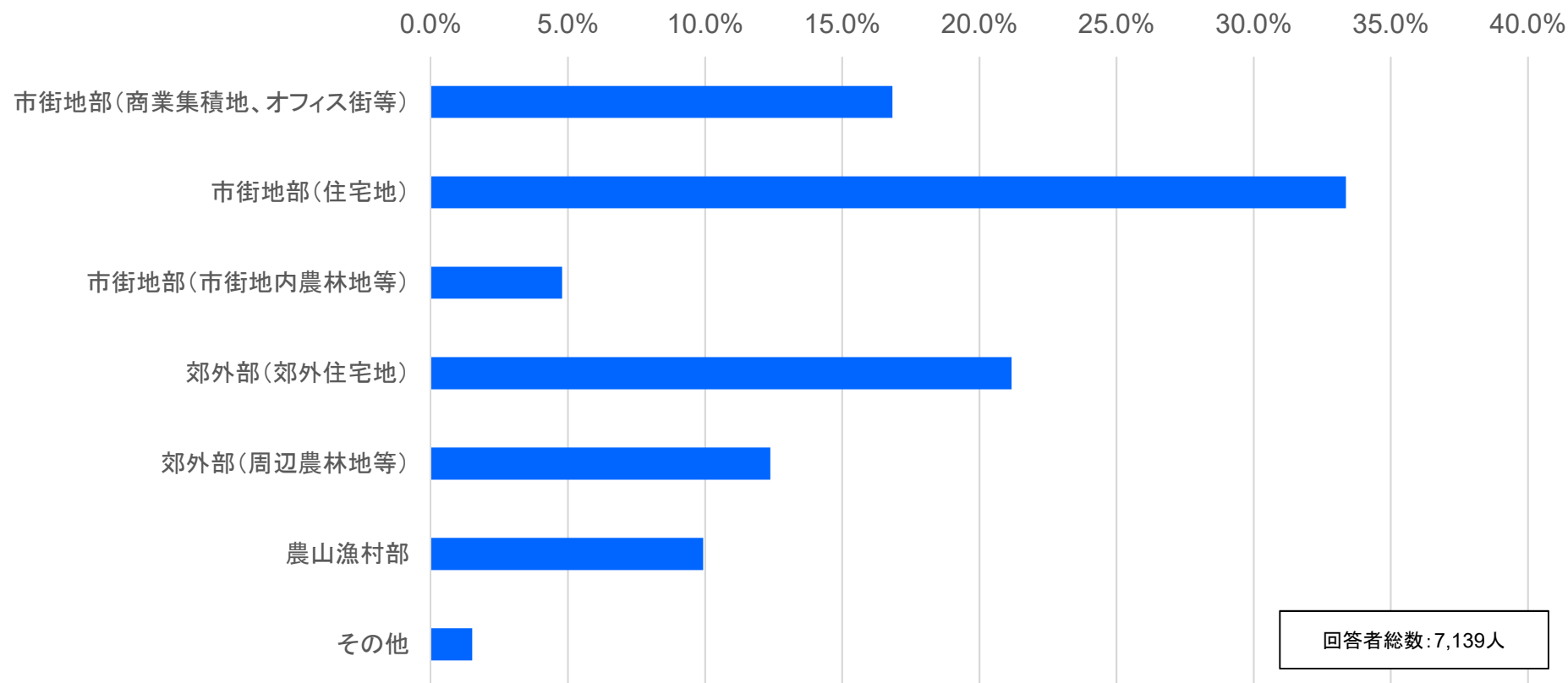
# (3)関係人口(訪問系)の対流の状況

## － 関係人口(訪問系)が訪問している地域区分(人数ベース) －

- 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(訪問系)が訪問している地域区分は、市街地部(住宅地)が3割を超えており、大きな割合を占めている。
- 農山漁村部等、集落部への訪問は、1割程度となっている。

### ■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(訪問系)

#### 関係人口(訪問系)が訪問している地域区分





# (3) 関係人口(訪問系)の対流の状況

## — 関係人口(訪問系)の流動(訪問地域数ベース) —

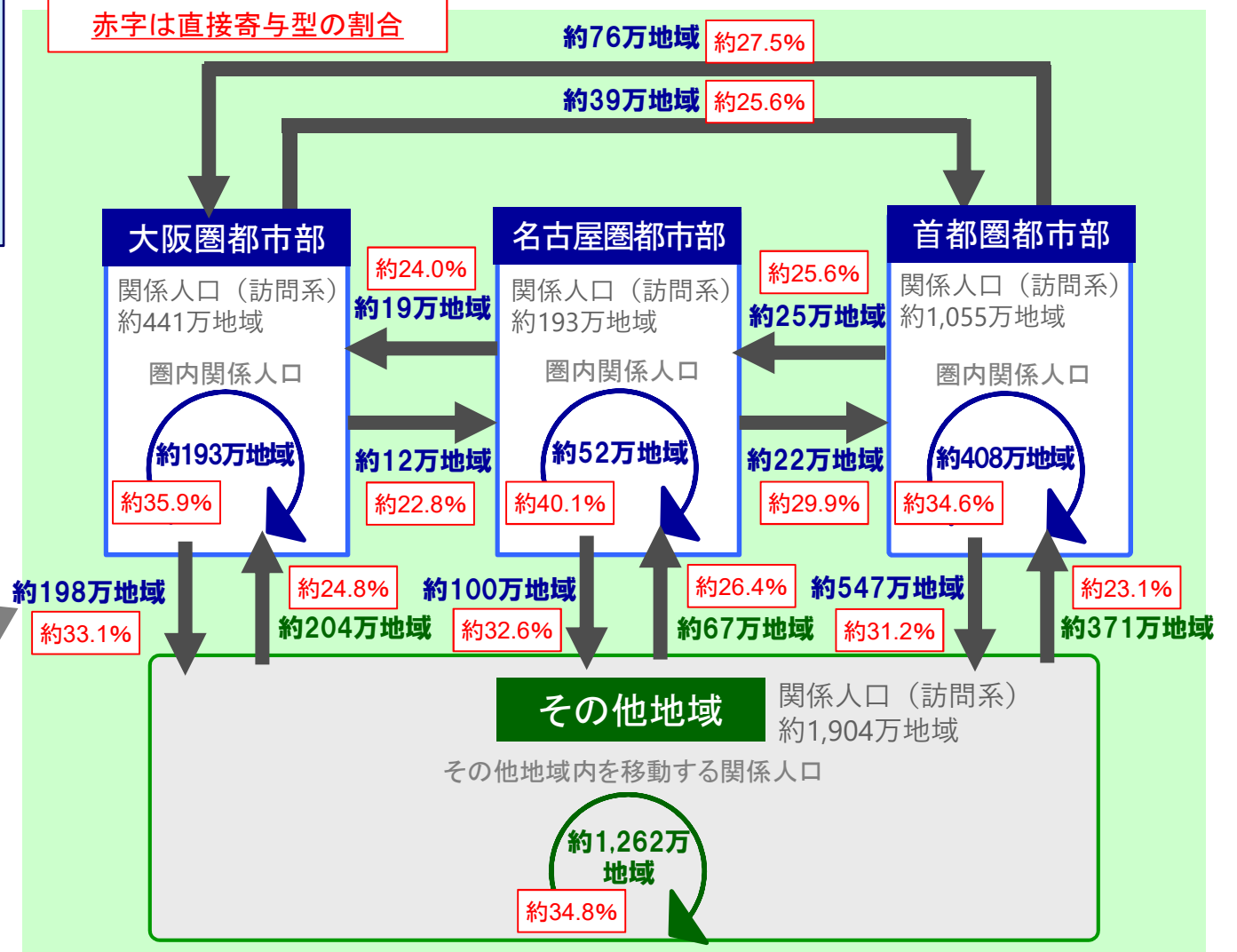
※ 人数ベースと同様の傾向

- 地方部(その他地域)から三大都市圏への流動よりも、三大都市圏から地方部(その他地域)への流動の方が大きい。
- 同一圏内に関わる関係人口及び三大都市圏から地方部(その他地域)に関わる関係人口については、直接寄与型の割合が大きくなっている。

【新型コロナウイルス感染症拡大直前】



### 三大都市圏とその他地域間の関係人口(訪問系)の流動



※ 地域数は延べ数  
 ※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある

# (3)関係人口(訪問系)の対流の状況

## － ブロック間の関係人口(訪問系)の流動(訪問地域数ベース) －

- 同一ブロック内での流動が多く、次いで隣接ブロック間での流動が多い傾向にある。
- 東北圏に関わり先を持つ関係人口(訪問系)は、直接寄与型の割合が他ブロックと比較して大きい。

### ブロック間の関係人口(訪問系)の流動

関係人口(訪問系) 計 地域数ベース (万地域)	関わり先													計
	北海道	東北圏	首都圏		北陸圏	中部圏		近畿圏		中国圏	四国圏	九州圏	沖縄県	
			都市部	その他		名古屋圏 都市部	その他	大阪圏 都市部	その他					
北海道	49	12	25	3	1	2	3	6	1	1	1	2	1	106
東北圏	9	169	67	21	4	2	10	8	2	2	1	4	1	299
首都圏	都市部	39	132	408	127	21	25	84	76	17	33	16	62	1,055
	その他	5	31	96	96	3	3	17	10	3	4	2	6	277
北陸圏	2	6	13	3	32	4	4	10	2	1	1	1	0.2	79
中部圏	名古屋圏都市部	3	8	22	4	7	52	56	19	6	5	2	8	193
	その他	5	13	64	16	7	43	93	24	7	4	2	6	286
近畿圏	大阪圏都市部	7	15	39	7	12	12	22	193	61	29	17	23	441
	その他	2	4	13	2	5	4	8	65	41	8	5	4	162
中国圏	2	6	21	3	2	3	4	30	7	94	8	17	1	199
四国圏	1	3	13	1	0.3	2	2	19	4	11	40	2	1	100
九州圏	4	9	50	4	2	5	4	27	3	18	4	228	5	364
沖縄県	1	1	8	1	0.3	0.3	1	4	1	0.5	0.3	6	9	33
計	129	409	840	286	96	156	307	491	156	211	99	370	45	3,594

※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある  
 ※ 四捨五入の結果、1未満となるものについては、小数点以下第一位まで表示

直接寄与型の割合 地域数ベース	関わり先													計 (万地域)
	北海道	東北圏	首都圏		北陸圏	中部圏		近畿圏		中国圏	四国圏	九州圏	沖縄県	
			都市部	その他		名古屋圏 都市部	その他	大阪圏 都市部	その他					
北海道	36.8%	37.9%	25.9%	39.4%	39.6%	11.8%	22.6%	26.8%	-	-	-	16.2%	23.3%	32.5%
東北圏	31.2%	33.7%	20.1%	36.5%	43.0%	38.3%	24.1%	22.9%	21.7%	24.6%	-	47.1%	28.7%	30.4%
首都圏	都市部	30.6%	37.1%	34.6%	31.8%	31.4%	25.6%	25.1%	27.5%	33.9%	28.1%	26.6%	28.0%	32.1%
	その他	39.4%	42.4%	25.1%	34.5%	25.0%	30.2%	22.2%	18.3%	27.0%	20.4%	24.4%	38.4%	49.0%
北陸圏	39.2%	35.4%	19.7%	53.0%	39.9%	19.4%	31.8%	28.1%	21.3%	37.4%	-	22.0%	-	32.7%
中部圏	名古屋圏都市部	42.2%	49.5%	29.9%	31.4%	29.4%	40.1%	32.0%	24.0%	26.8%	28.5%	21.0%	30.3%	29.1%
	その他	42.5%	43.9%	23.9%	29.3%	28.8%	26.6%	35.0%	25.4%	23.9%	24.7%	19.1%	25.7%	31.7%
近畿圏	大阪圏都市部	27.0%	47.6%	25.6%	37.9%	29.1%	22.8%	31.1%	35.9%	34.5%	30.1%	30.1%	34.1%	17.8%
	その他	39.1%	41.0%	18.2%	25.4%	28.9%	28.9%	33.9%	26.8%	37.3%	27.0%	25.2%	34.4%	-
中国圏	27.4%	59.9%	19.9%	24.2%	49.7%	9.5%	25.0%	18.0%	26.1%	36.9%	30.9%	24.4%	-	30.3%
四国圏	27.9%	78.2%	25.6%	-	-	26.0%	33.2%	27.2%	29.7%	35.5%	35.6%	51.8%	7.6%	33.7%
九州圏	35.0%	42.2%	23.8%	24.5%	44.5%	36.7%	35.6%	22.8%	38.5%	32.6%	27.1%	35.9%	25.9%	32.9%
沖縄県	-	44.2%	21.7%	-	-	-	-	46.8%	84.6%	-	-	21.9%	38.8%	30.9%
計	34.0%	37.7%	29.0%	33.1%	34.6%	30.6%	30.0%	29.5%	34.0%	32.7%	30.9%	33.5%	30.7%	31.8%

※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある  
 ※ ブロック間の関係人口の流動が1万人未満の場合、統計的妥当性が確保できないため、直接寄与型の割合は「-」表示

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

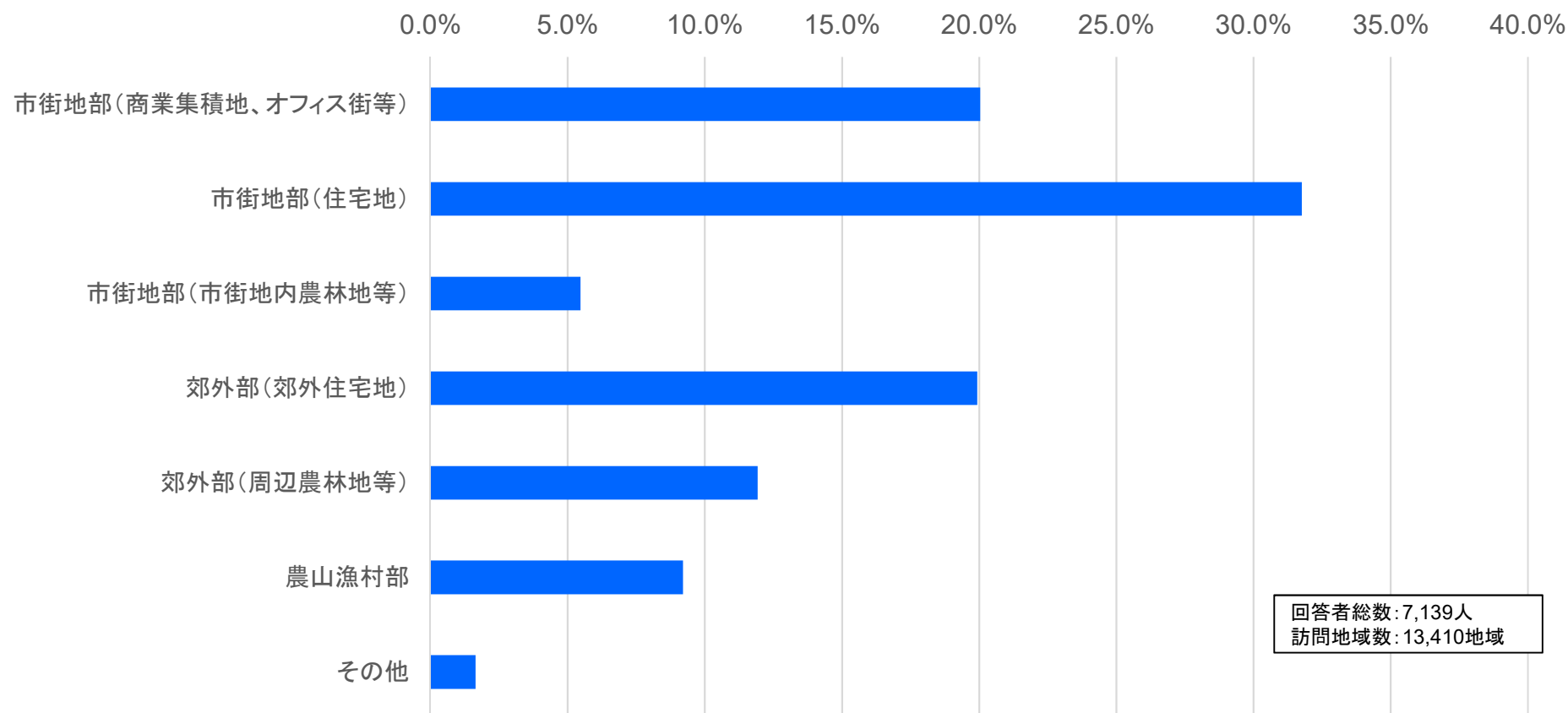
### (3)関係人口(訪問系)の対流の状況

#### － 関係人口(訪問系)が訪問している地域区分(訪問地域数ベース) －

- 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(訪問系)が訪問している地域区分は、市街地部(住宅地)が3割を超えており、大きな割合を占めている。
- 農山漁村部等、集落部への訪問は、1割程度となっている。

#### ■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(訪問系)

#### 関係人口(訪問系)が訪問している地域区分



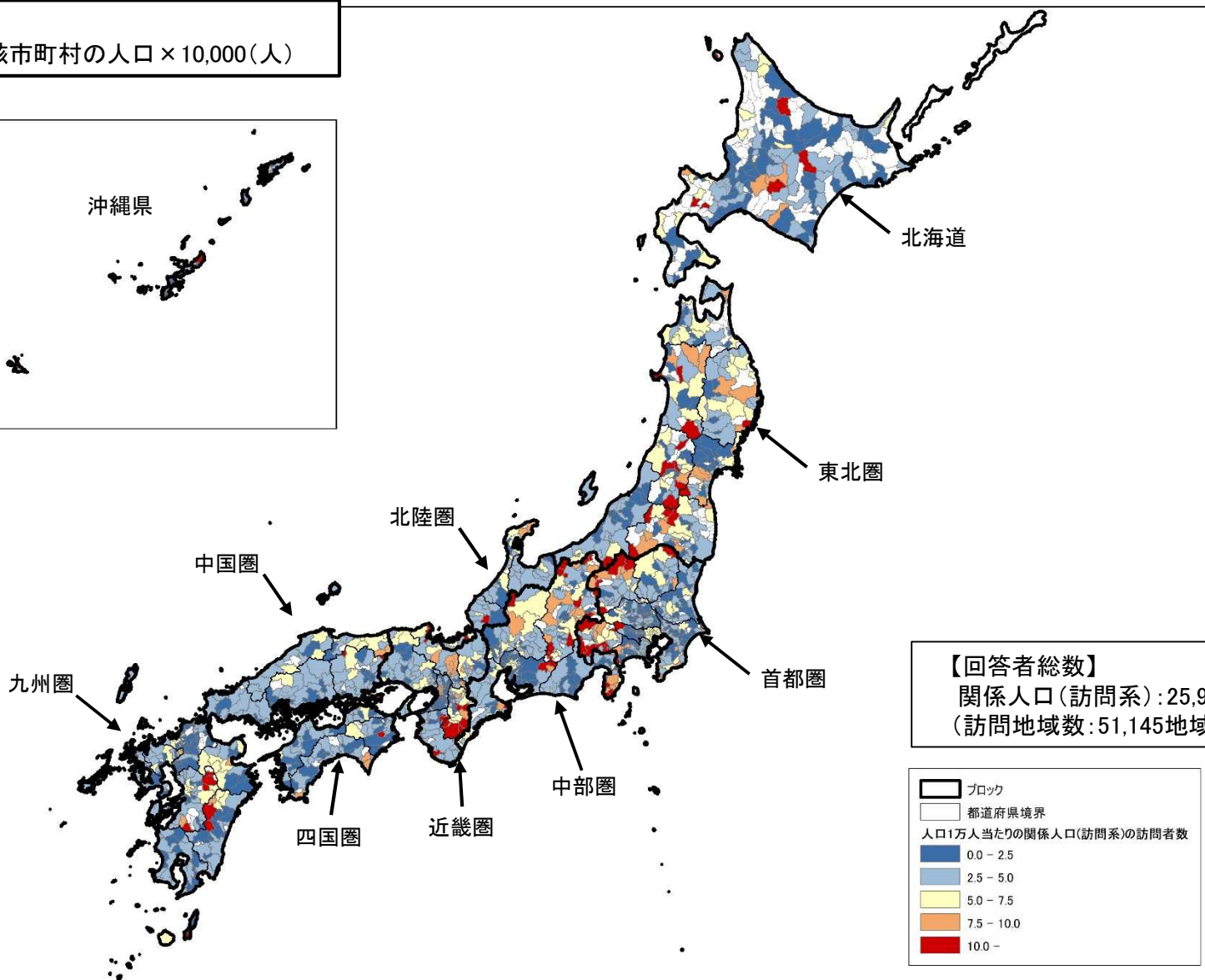
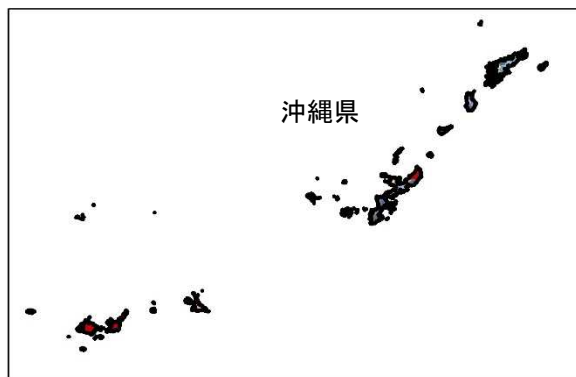
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

# (4)関係人口(訪問系)と移住の関係

## 一 関係人口(訪問系)の訪問先

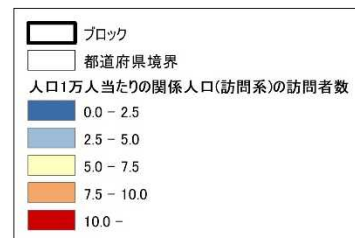
### 【計算方法】

関係人口(訪問系)人数 / 当該市町村の人口 × 10,000(人)



### 【回答者総数】

関係人口(訪問系): 25,924人  
(訪問地域数: 51,145地域)

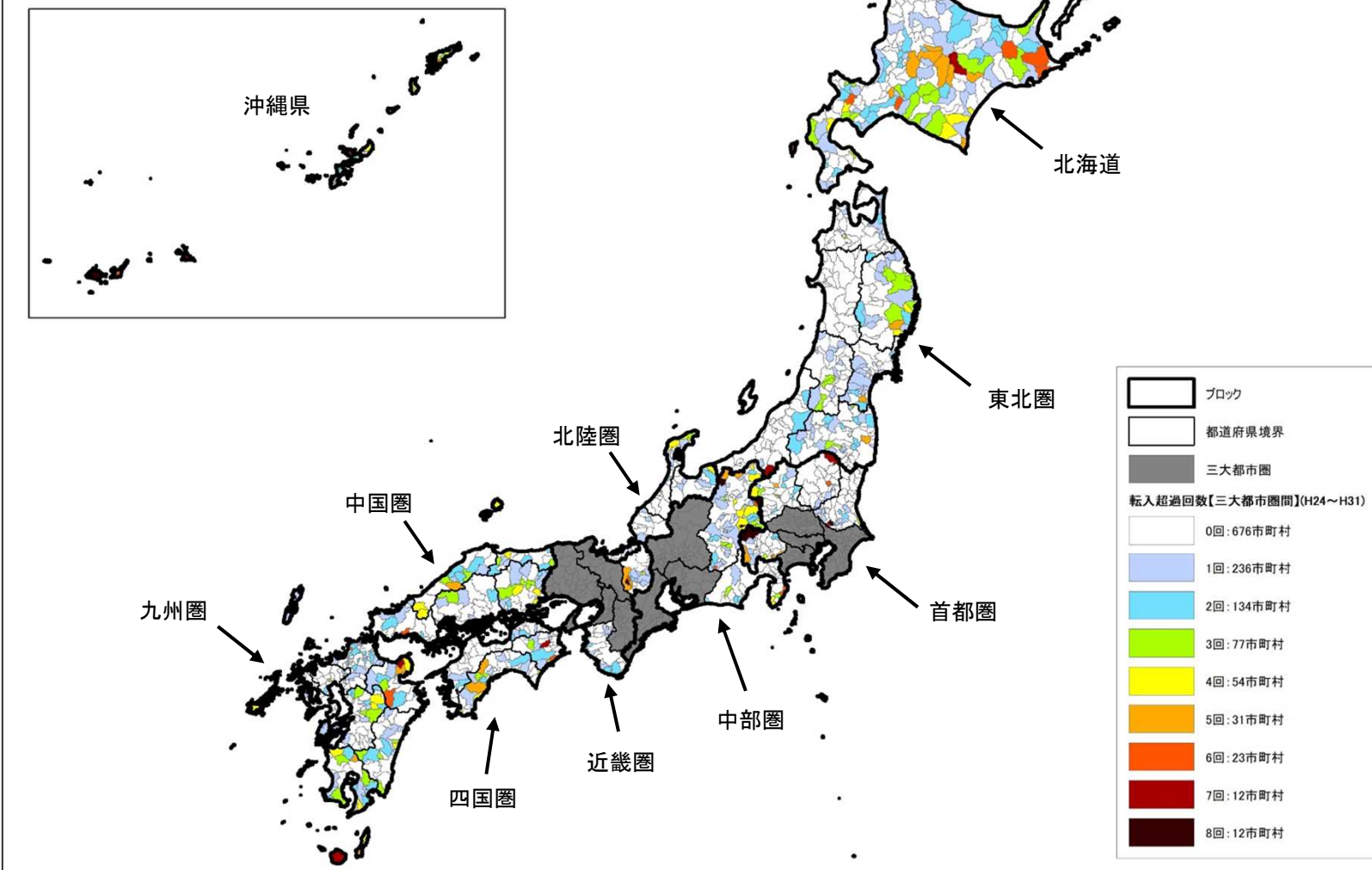


(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース  
※H27国勢調査を活用して、人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の訪問者数を算出

# (4)関係人口(訪問系)と移住の関係

## — 三大都市圏からの転入超過回数の空間分布 —

注) 当該頁における三大都市圏と「地域との関わりについてのアンケート」  
 (国土交通省、令和2年9月実施)における三大都市圏とは定義が異なる。  
 (「地域との関わりについてのアンケート」における三大都市圏の定義は補足資料で整理)



※各市町村と三大都市圏の都府県間毎の転入者、転出者数のデータを基に整理しており、「調査していないため該当数値がない」データについてはゼロと取扱いデータ処理していることから、**社会増が生じていてもその状況が浮き上がってこない市町村が相当程度あることが推測される。**  
 ※「調査していないため、該当数値がない」データについてはゼロと取扱いデータ処理。

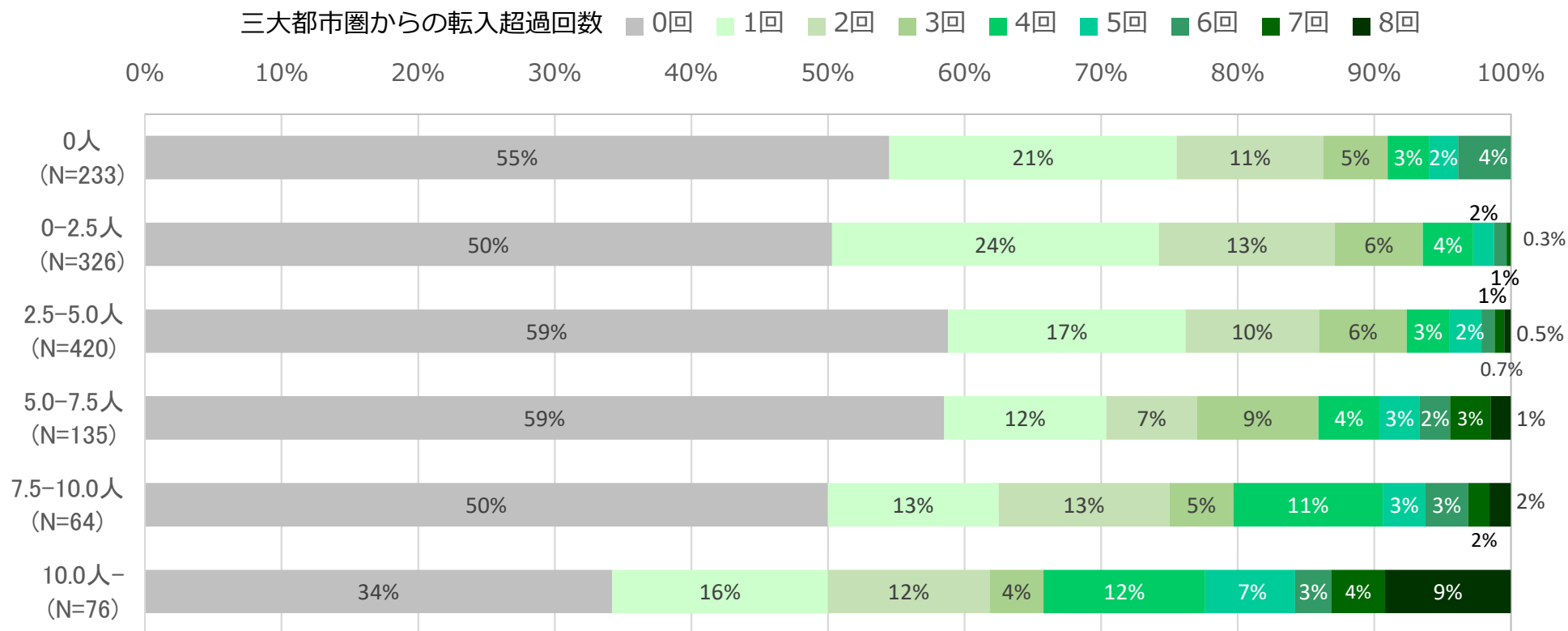
資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告（H24～H31）」

# (4) 関係人口(訪問系)と移住の関係

## — 関係人口(訪問系)と三大都市圏からの転入超過回数 —

- 人口1万人当たりの関係人口(訪問系)が多い市区町村は、三大都市圏からの転入超過回数も多いことを確認。
- 関係人口(訪問系)の来訪が多い地域では、三大都市圏からの移住者が多いことから、そのような地域では、外部の人を受け入れる環境が整っていると考えられる。

### 人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の人数と三大都市圏からの転入超過回数



注1：三大都市圏内の市区町村は含まない  
 注2：国勢調査（H27）人口を活用して、人口1万人当たりの関係人口（訪問系）を集計

人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の人数

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース  
 総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告(H24~H31)」

# (4)関係人口(訪問系)と移住の関係

## — 関係人口(訪問系)の来訪及び転入超過回数が多い市町村 —

### 人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の人数及び三大都市圏からの転入超過回数が多い市町村

#### 転入超過回数

人口1万人当たりの関係人口(訪問系)の人数

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
5.0-7.5	岩手県 九戸村 宮城県 村田町 宮城県 山元町 石川県 羽咋市 山梨県 韮崎市 長野県 伊那市 長野県 大町市 長野県 立科町 長野県 阿南町 長野県 泰阜村 滋賀県 近江八幡市 鳥根県 奥出雲町 岡山県 真庭市 高知県 奈半利町 大分県 日田市 宮崎県 高千穂町	岩手県 釜石市 岩手県 西和賀町 福島県 南相馬市 長野県 木島平村 鳥取県 岩美町 鳥取県 三朝町 岡山県 奈義町 熊本県 高森町 大分県 玖珠町	北海道 鹿部町 北海道 せたな町 青森県 田舎館村 岩手県 遠野市 岩手県 葛巻町 岩手県 田野畑村 山形県 朝日町 福島県 国見町 広島県 北広島町 香川県 土庄町 熊本県 山都町 大分県 九重町	北海道 長万部町 石川県 輪島市 岡山県 吉備中央町 大分県 国東市 岩手県 宇検村 沖縄県 宜野座村	北海道 東川町 滋賀県 大津市 鳥根県 邑南町 鹿児島県 和泊町	北海道 倶知安町 静岡県 伊東市 大分県 竹田市	山口県 周防大島町 鹿児島県 屋久島町 沖縄県 本部町 沖縄県 久米島町	長野県 原村 鹿児島県 与論町
7.5-10.0	北海道 新冠町 青森県 東通村 岩手県 宮古市 宮城県 仙台市 石川県 能登町 福井県 高浜町 長野県 木曾町 滋賀県 竜王町	北海道 夕張市 宮城県 丸森町 宮城県 南三陸町 福島県 磐梯町 群馬県 川場村 静岡県 小山町 鳥取県 智頭町 沖縄県 那覇市	石川県 珠洲市 静岡県 河津町 鳥取県 若桜町	岩手県 陸前高田市 群馬県 嬬恋村 長野県 茅野市 長野県 富士見町 長野県 山ノ内町 静岡県 松崎町 鳥根県 西ノ島町	宮城県 女川町 長野県 信濃町	静岡県 東伊豆町 香川県 琴平町	沖縄県 宮古島市	滋賀県 草津市
10.0以上	北海道 留寿都村 岩手県 大船渡市 宮城県 七ヶ宿町 山形県 寒河江市 福島県 西会津町 福島県 猪苗代町 群馬県 片品村 福井県 美浜町 山梨県 身延町 長野県 小川村 和歌山県 高野町 和歌山県 白浜町	福島県 北塩原村 茨城県 大洗町 群馬県 草津町 富山県 舟橋村 山梨県 小菅村 長野県 阿智村 長野県 平谷村 岡山県 西粟倉村 沖縄県 座間味村	北海道 占冠村 群馬県 長野原町 長野県 南牧村	北海道 ニセコ町 長野県 長和町 長野県 野沢温泉村 静岡県 南伊豆町 香川県 小豆島町 熊本県 阿蘇市 熊本県 南阿蘇村 沖縄県 国頭村 沖縄県 与那国町	山梨県 早川町 山梨県 山中湖村 長野県 小谷村 鳥根県 海士町 鹿児島県 南種子町	長野県 売木村 沖縄県 石垣市	北海道 上士幌町 栃木県 那須町 新潟県 湯沢町	山梨県 北杜市 長野県 軽井沢町 長野県 白馬村 静岡県 熱海市 沖縄県 今帰仁村 沖縄県 恩納村 沖縄県 竹富町

注1：三大都市圏内の市区町村は含まない

注2：国勢調査（H27）人口を活用して、人口1万人当たりの関係人口（訪問系）を集計

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース  
総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告(H24~H31)」

# (4)関係人口(訪問系)と移住の関係

## 一 関わり先別・関係人口大分類別の移住希望(首都圏都市部→その他地域) 一

- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)直接寄与型は、移住希望が他の関係人口の大分類と比較して高く、関わり先の地域が「農山漁村部」、「市街地部(市街地内農林地等)」、「市街地部(住宅地)」の人ほどその傾向が強い。

### 移住希望の有無(関わり先別・関係人口大分類別)

関わり先 (地域詳細)	<移住希望の有無>	関係人口(訪問系)				
		趣味・消費型	就労型 (テレワーク)	参加・交流型	就労型 (現地就労)	直接寄与型
全体	移住したい地域である	46%	53%	54%	55%	64%
	移住したくない地域である	54%	47%	46%	45%	36%
市街地部 (商業集積地、オフィス街等)	移住したい地域である	51%	47%	61%	59%	61%
	移住したくない地域である	49%	53%	39%	41%	39%
市街地部(住宅地)	移住したい地域である	45%	60%	53%	54%	67%
	移住したくない地域である	55%	40%	47%	46%	33%
市街地部 (市街地内農林地等)	移住したい地域である	44%	68%	52%	59%	67%
	移住したくない地域である	56%	32%	48%	41%	33%
郊外部(郊外住宅地)	移住したい地域である	43%	48%	55%	55%	61%
	移住したくない地域である	57%	52%	45%	45%	39%
郊外部(周辺農林地等)	移住したい地域である	40%	55%	49%	45%	60%
	移住したくない地域である	60%	45%	51%	55%	40%
農山漁村部	移住したい地域である	48%	52%	53%	59%	67%
	移住したくない地域である	52%	48%	47%	41%	33%
その他	移住したい地域である	39%	50%	55%	67%	52%
	移住したくない地域である	61%	50%	45%	33%	48%

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、首都圏都市部→その他地域、訪問地域数ベース



# (4)関係人口(訪問系)と移住の関係

## 一 関係人口大分類別の移住したいと思う理由(首都圏都市部→その他地域) 一

- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)が関わりのある地域に移住したいと思う理由では、「住環境の魅力」や「自然環境の豊かさ」が主な理由となっており、都市部では得難い地域資源に惹かれる人が多い。

### 移住したいと思う理由(関係人口大分類別)

複数回答可

<「移住したい」と思う理由>	関係人口(訪問系)				
	趣味・消費型	就労型 (テレワーク)	参加・交流型	就労型 (現地就労)	直接寄与型
やりたい仕事・生きがい・趣味がある(自分や家族)	13%	15%	12%	15%	13%
住環境に魅力を感じる	33%	34%	35%	28%	25%
自然環境が豊かである	51%	43%	57%	37%	41%
魅力的な人がいる	13%	12%	15%	13%	17%
地域コミュニティやつながりに魅力を感じる	8%	15%	18%	18%	18%
子どもの教育や成長に好影響である	10%	12%	14%	12%	14%
実家・家業を継ぐ、介護など家庭の事情がある	5%	12%	14%	11%	11%
親族の近くに住むのが便利である	16%	19%	33%	24%	23%
生活費が安くなる	29%	25%	30%	25%	22%
都市機能が充実している	14%	17%	12%	11%	10%
通勤・通学に便利、進学・転職・起業などに有利である	4%	6%	4%	9%	8%
テレワーク／副業の制度が活用可能となったため	4%	8%	4%	9%	9%
人口密度が低く感染症リスクが低下するため	9%	14%	13%	12%	14%
その他	2%	1%	1%	0%	0%

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、首都圏都市部→その他地域、訪問地域数ベース

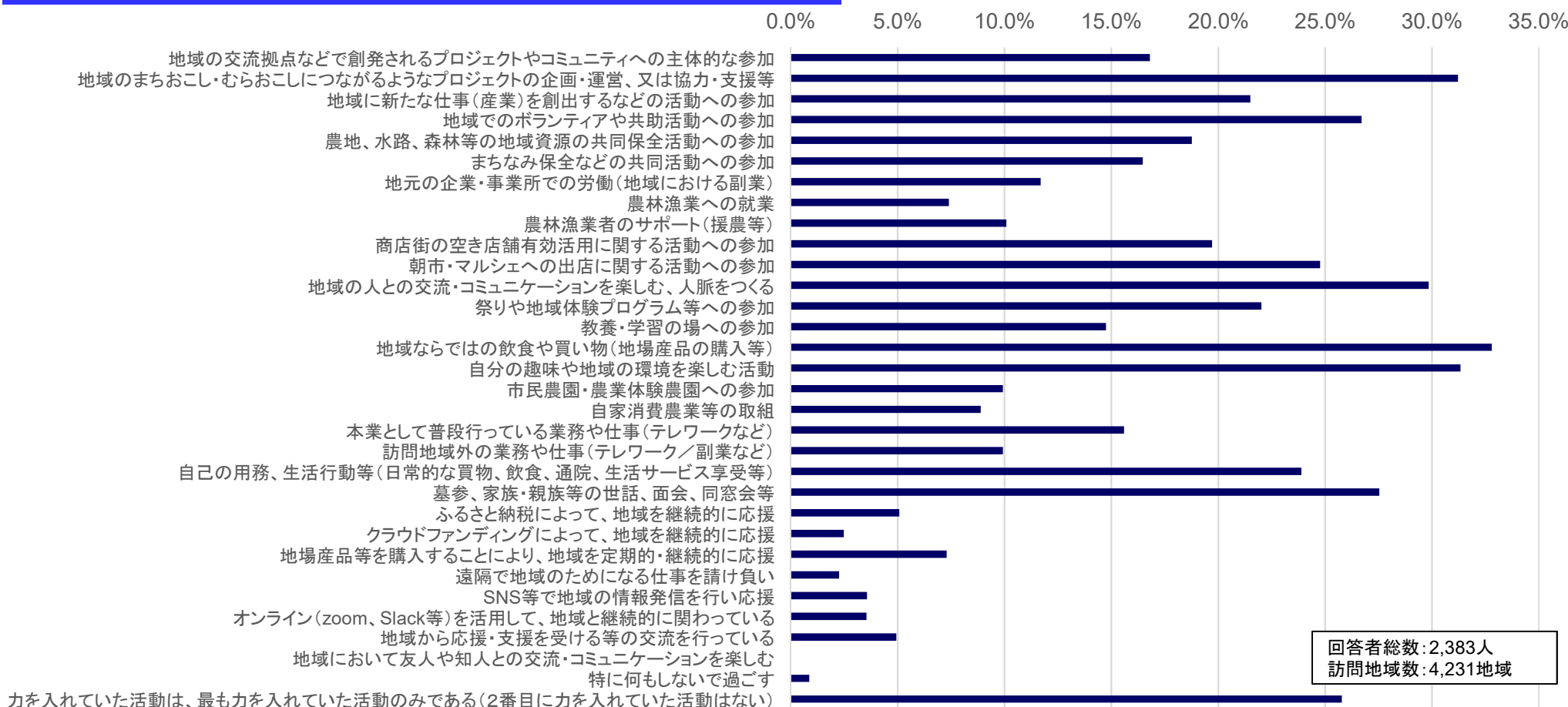
# (5)関係人口(訪問系)直接寄与型の地域における過ごし方

## — 三大都市圏からその他地域への関わり —

- 三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)直接寄与型は、地域のまちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、地域でのボランティアや共助活動への参加だけでなく、参加・交流的な活動や趣味・消費的な活動にも参加している。

### 関係人口(訪問系)直接寄与型の地域における過ごし方

複数回答可



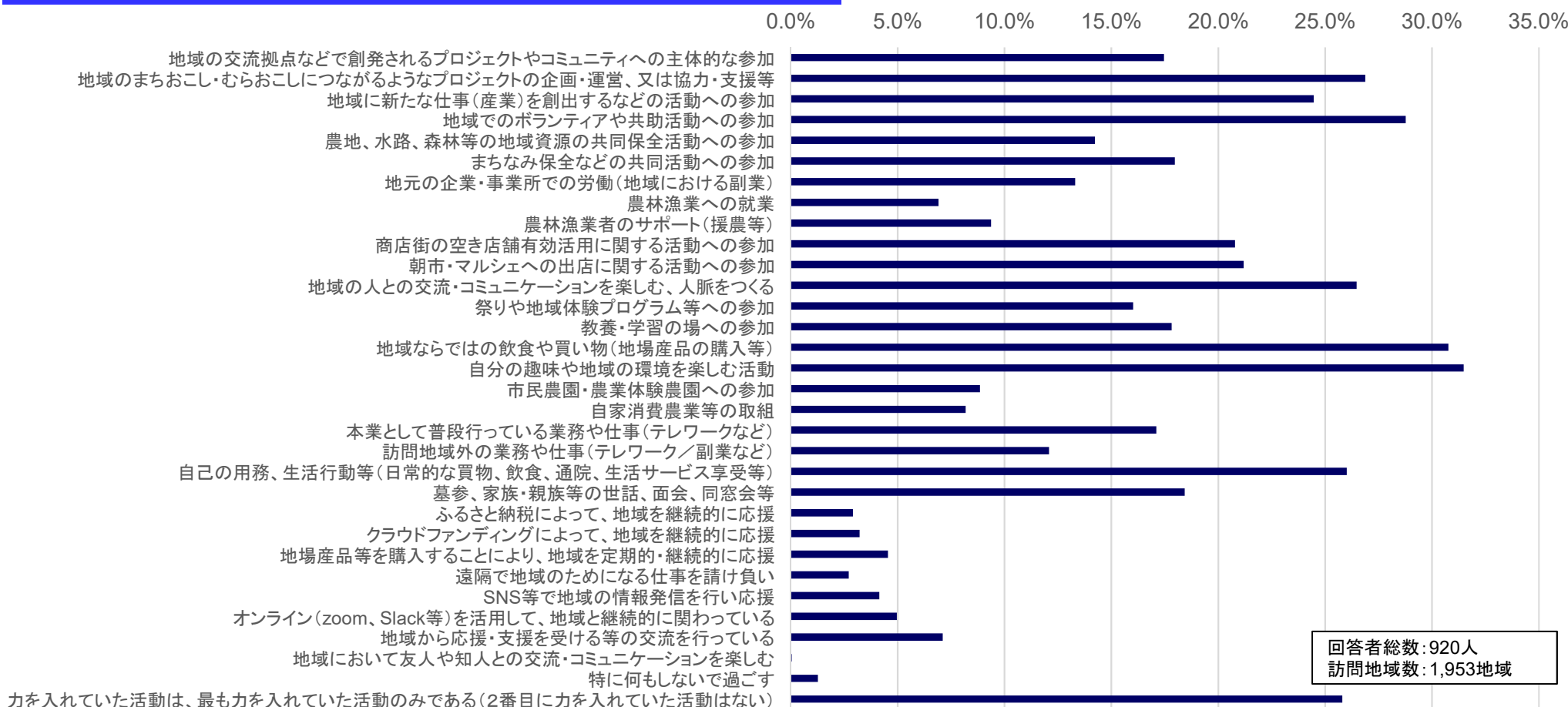
# (5)関係人口(訪問系)直接寄与型の地域における過ごし方

## — その他地域から三大都市圏への関わり —

- その他地域から三大都市圏に関わりを持つ関係人口(訪問系)直接寄与型は、地域のまちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、地域でのボランティアや共助活動への参加だけでなく、参加・交流的な活動や趣味・消費的な活動にも参加している。

### 関係人口(訪問系)直接寄与型の地域における過ごし方

複数回答可



## 4. 関係人口（訪問系）の拡大・深化に向けて

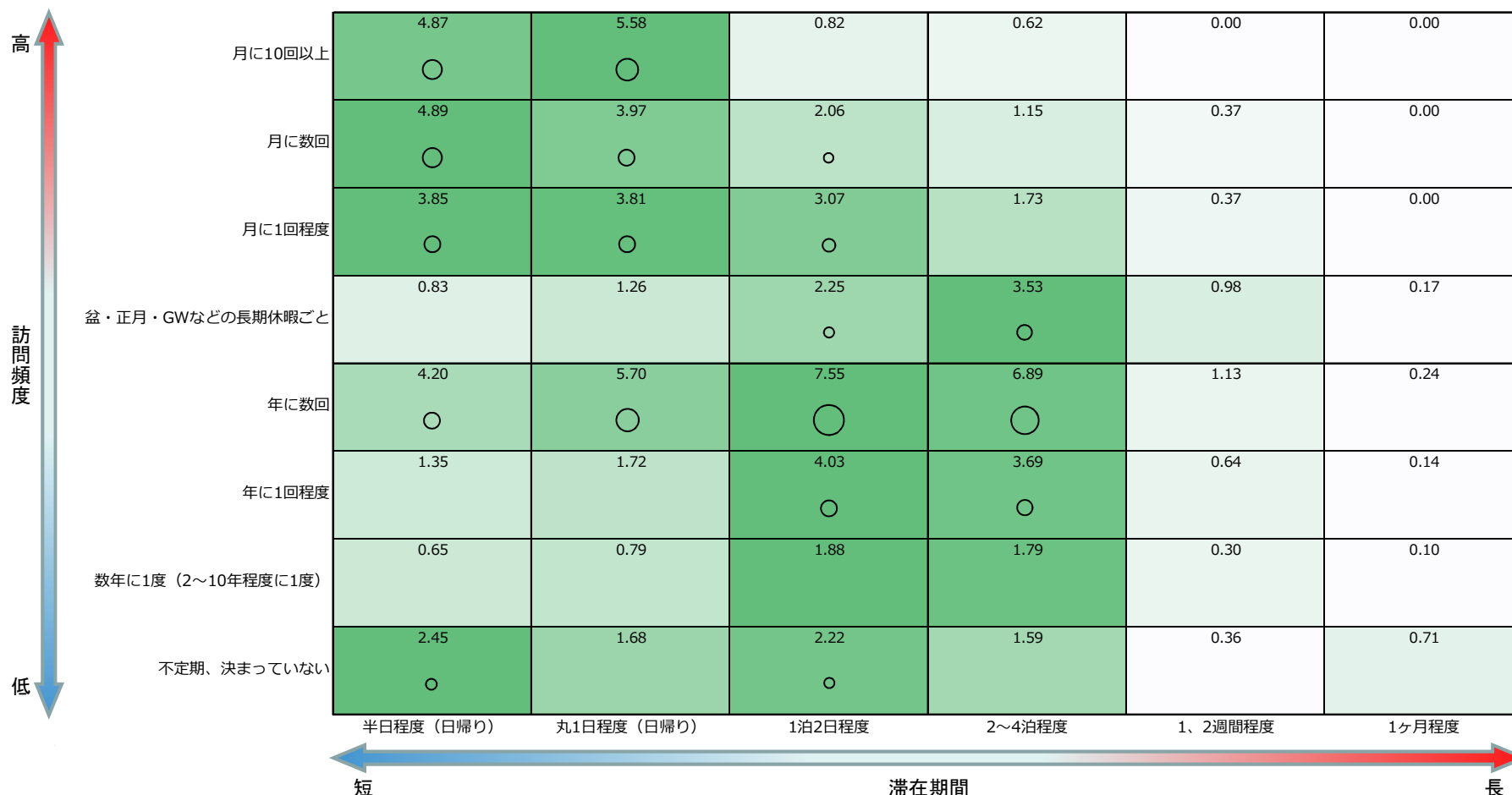
# (1)関係人口(訪問系)の訪問頻度と滞在期間 — 全国的な傾向(三大都市圏+その他地域) —

- 全国的な傾向として、①関わり先の地域への訪問頻度が高く、滞在期間が短い関係人口、②関わり先の地域への訪問頻度が「年に数回」で滞在期間が「1泊～4泊程度」の関係人口が多い傾向にある。

## 関係人口(訪問系)の訪問頻度と滞在期間

回答者総数:25,883人  
訪問地域数:50,897地域

割合(%) : 低 ← 高  
(平均値:2.0%以上は○で表記)

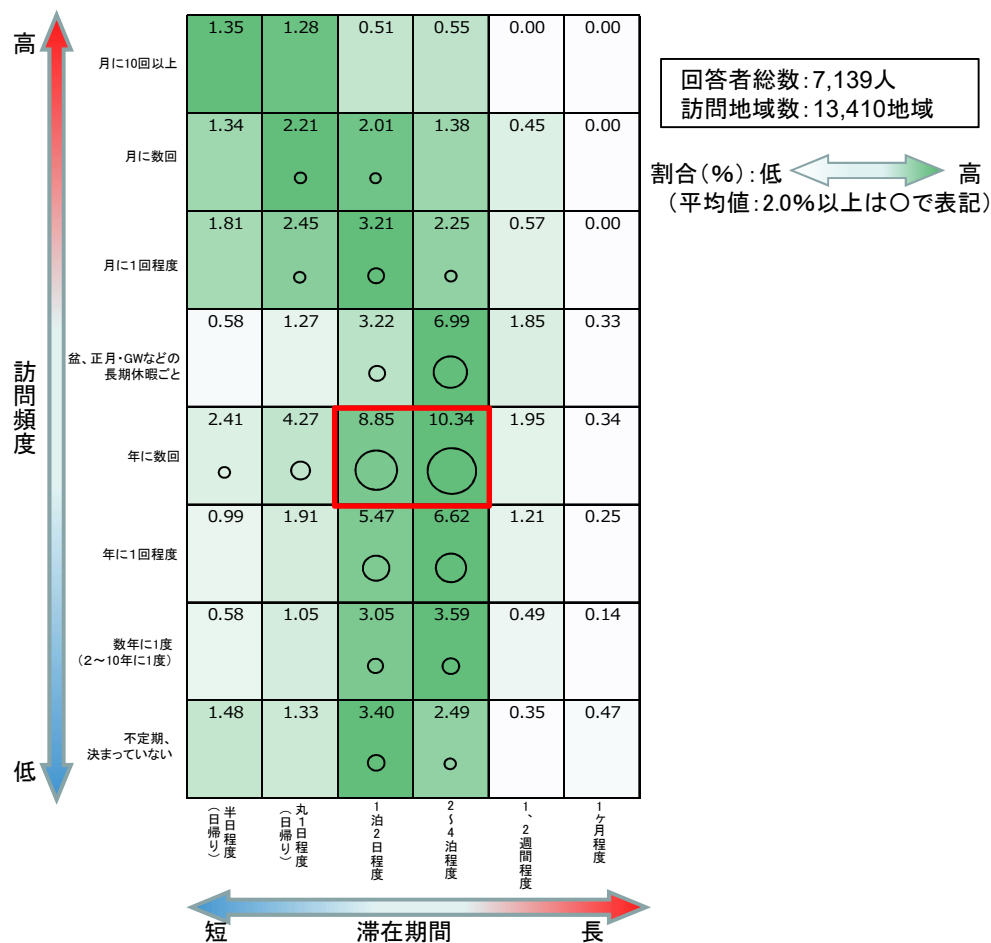


# (1) 関係人口(訪問系)の訪問頻度と滞在期間

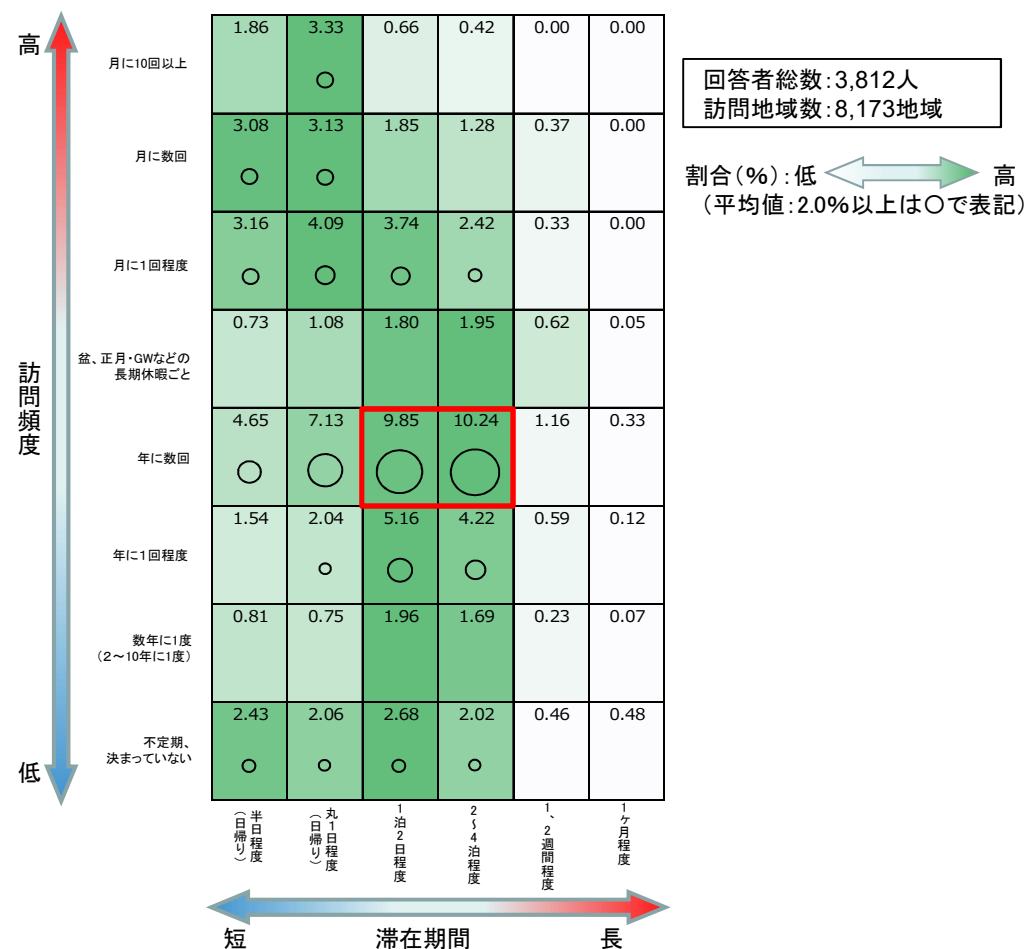
## — 三大都市圏⇄その他地域の関わり —

- 全体と比較すると、三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)、その他地域から三大都市圏に関わりを持つ関係人口(訪問系)のどちらも訪問頻度が高く滞在期間が短い人が少ない傾向にある。
- また、訪問頻度が「年に数回」、滞在期間が「1泊~4泊程度」の関係人口(訪問系)の割合が特に大きい。

### 三大都市圏からその他地域への関わり



### その他地域から三大都市圏への関わり



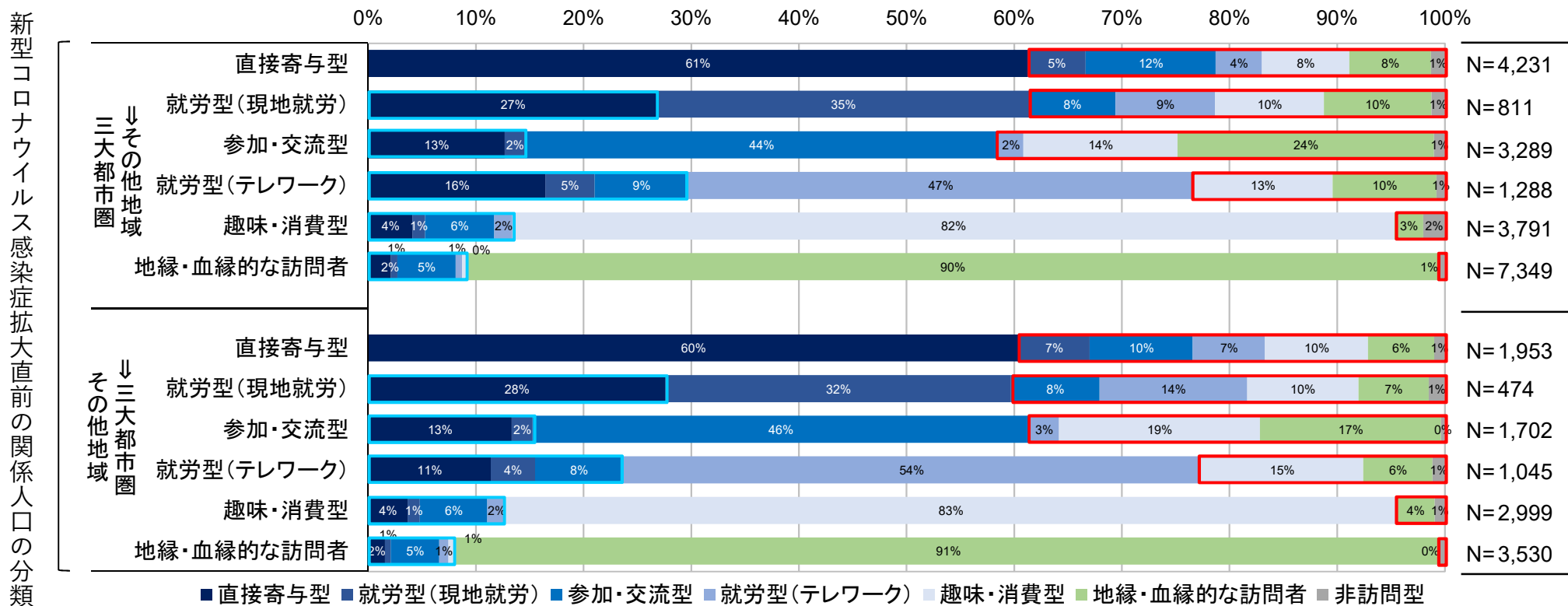
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

# (2)関係人口(訪問系)の動態性(当初→現在の過ごし方)

## — 三大都市圏⇄その他地域の関わり —

- 三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)の関わり方のステップをみると、「関わりが深化」している人がいる一方で、「関わりが低下」している人も存在する。
- その他地域から三大都市圏に関わりを持つ関係人口(訪問系)においても同様の傾向がみられる。

### 関係人口(訪問系)の動態性



  関わりが深化  
  関わりが低下

### 関わり当初の関係人口の分類

三大都市圏⇒その他地域 回答者総数:10,277人  
 訪問地域数:20,759地域  
 その他地域⇒三大都市圏 回答者総数:4,971人  
 訪問地域数:11,703地域

(出典)「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)  
 ※新型コロナウイルス感染症拡大直前の関係人口の分類方法を参考に、関わり当初の関係人口の分類化を実施

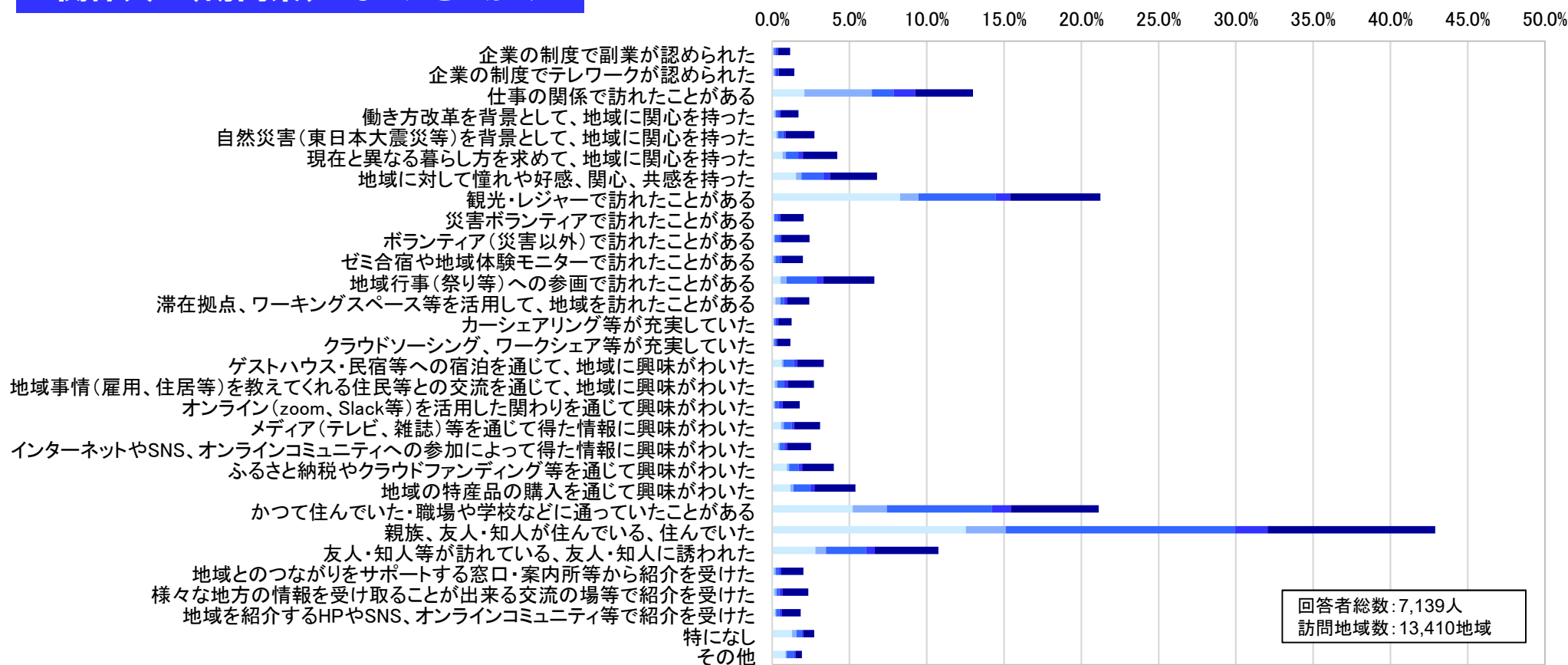
# (3) 関係人口(訪問系)になったきっかけ

## — 三大都市圏からその他地域への関わり —

- 三大都市圏からその他地域に関わり始めたきっかけとして、「親族・友人・知人が住んでいる、住んでいた」・「かつて住んでいた・職場や学校などに通っていたことがある」といった地縁・血縁的な理由を回答した人の割合が大きい。
- また、「観光・レジャーで訪れたことがある」・「仕事の関係で訪れたことがある」と回答した人も一定数存在する。

### 関係人口(訪問系)になったきっかけ

複数回答可



■ 趣味・消費型(N=3791) ■ 就労型(テレワーク)(N=1288) ■ 参加・交流型(N=3289) ■ 就労型(現地就労)(N=811) ■ 直接寄与型(N=4231)

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)



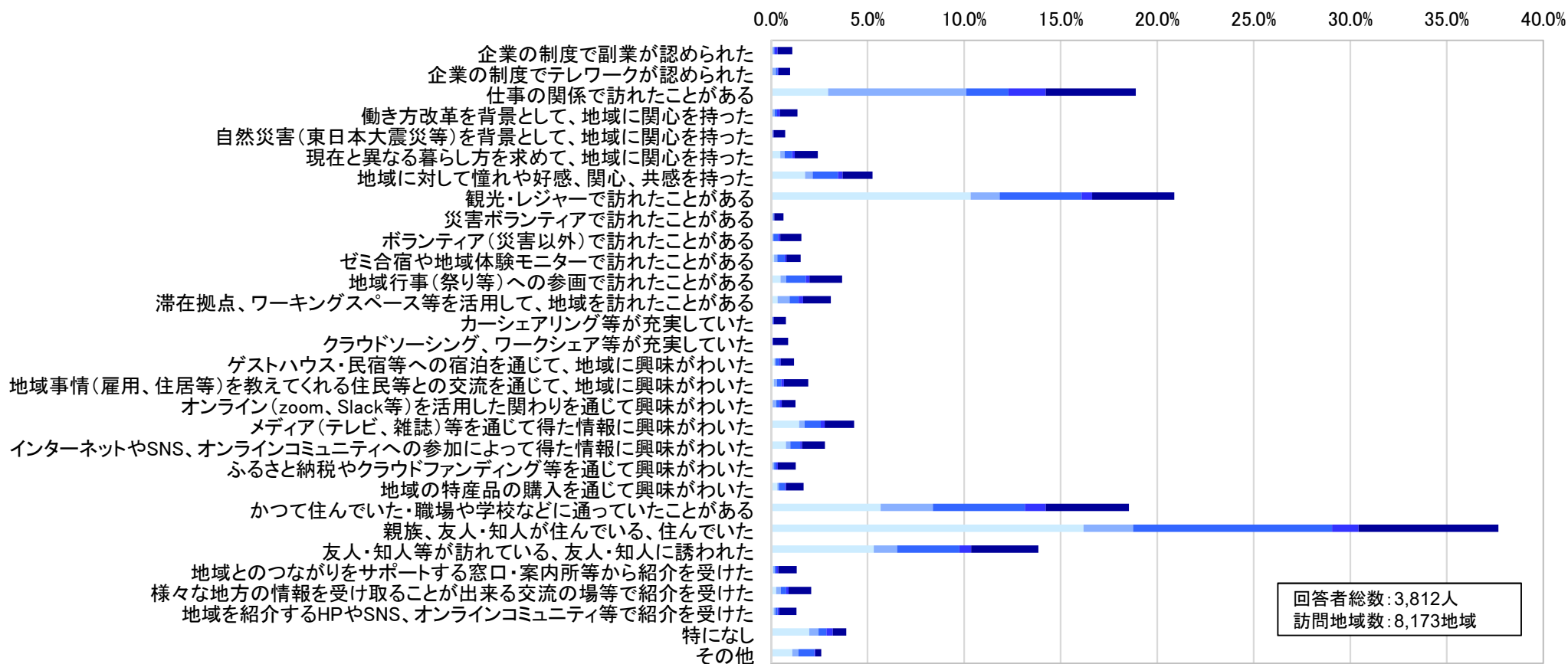
# (3) 関係人口(訪問系)になったきっかけ

## — その他地域から三大都市圏への関わり —

- その他地域から三大都市圏に関わり始めたきっかけとして、「親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた」・「かつて住んでいた・職場や学校などに通っていたことがある」といった地縁・血縁的な理由を回答した人の割合が大きい。
- また、「観光・レジャーで訪れたことがある」・「仕事の関係で訪れたことがある」と回答した人も一定数存在する。

### 関係人口(訪問系)になったきっかけ

複数回答可



回答者総数: 3,812人  
訪問地域数: 8,173地域

■ 趣味・消費型 (N=2999)   ■ 就労型(テレワーク) (N=1045)   ■ 参加・交流型 (N=1702)   ■ 就労型(現地就労) (N=474)   ■ 直接寄与型 (N=1953)

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

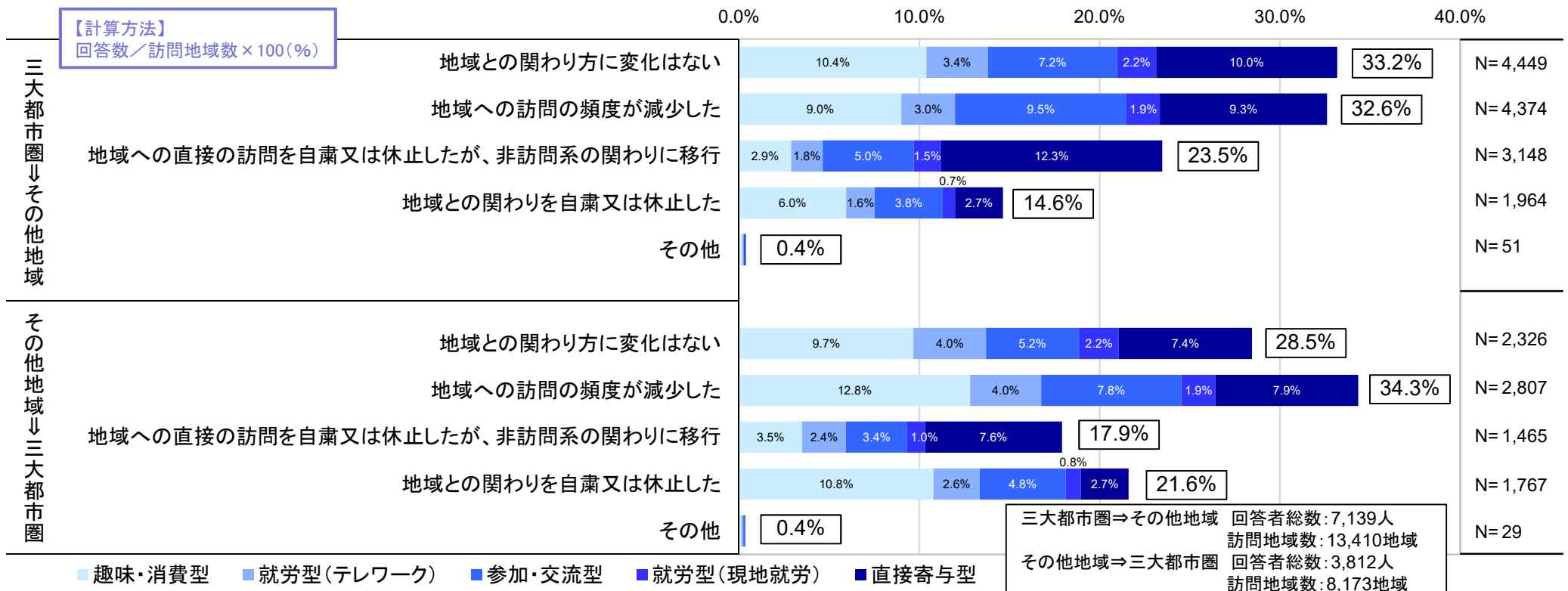
# (4)新型コロナウイルスが関係人口(訪問系)に及ぼした影響

## — 三大都市圏⇄その他地域の関わり —

- 三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は「地域との関わり方に変化はない」又は「地域への訪問の頻度が減少した」と回答する人の割合が大きい。「訪問を自粛又は休止したが、非訪問系の関わりに移行」した人の割合がその他地域から三大都市圏への関わりと比べて大きく、継続的に地域を応援しようとする傾向がみられる。
- その他地域から三大都市圏に関わりを持つ関係人口(訪問系)は「地域への訪問の頻度が減少した」と回答する人の割合が最も大きい。三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較すると、「地域との関わりを自粛又は休止した」と回答する人の割合が大きく、東京圏等における感染者の増加等が要因として考えられる。

### 新型コロナウイルスが関係人口(訪問系)に及ぼした影響

複数回答可



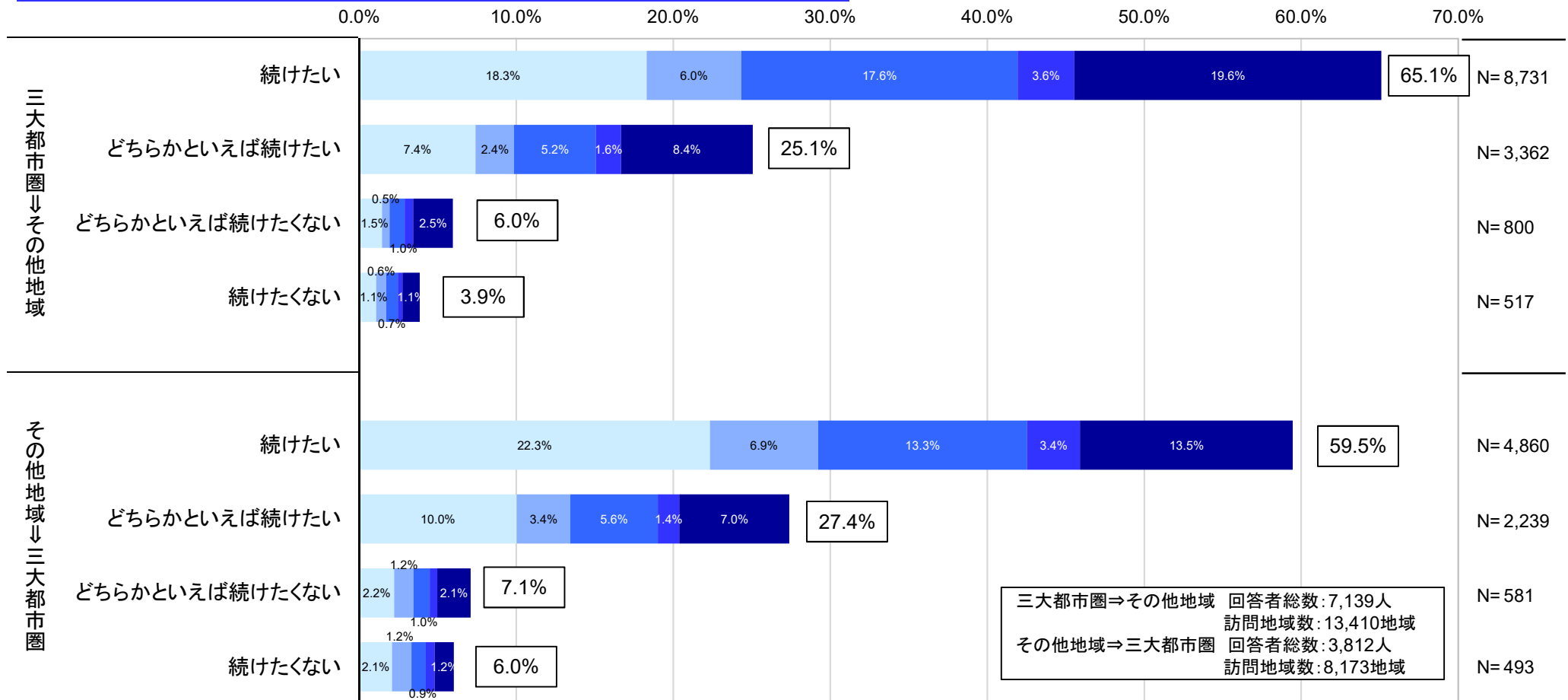
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

# (5)関係人口(訪問系)が地域との関わりを深めるために必要な要素

## — 地域との関わり継続の意向(三大都市圏⇄その他地域の関わり) —

○ 三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、その他地域から三大都市圏に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較して、「地域との関わりを続けたい」と回答する人の割合が大きく、その中でも関係人口(訪問系)直接寄与型においてその傾向が強い。

### 関係人口(訪問系)の地域との関わり継続の意向



■ 趣味・消費型 ■ 就労型(テレワーク) ■ 参加・交流型 ■ 就労型(現地就労) ■ 直接寄与型

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

# (5)関係人口(訪問系)が地域との関わりを深めるために必要な要素

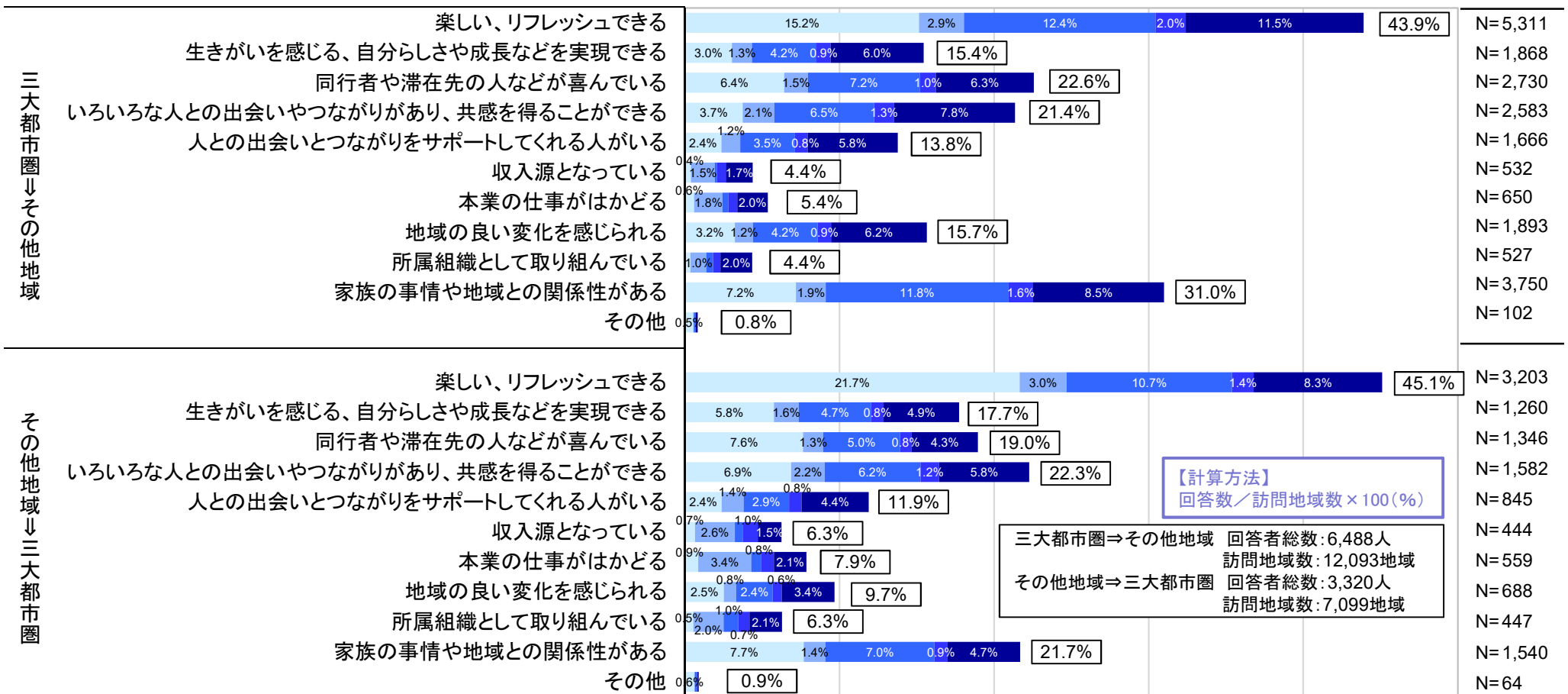
## — 地域との関わりを継続したい理由(三大都市圏⇄その他地域の関わり) —

- 「楽しい、リフレッシュできる」・「いろいろな人との出会いやつながりがあり、共感を得ることができる」と回答した割合が共通して大きく、三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)では、「地域の良い変化を感じられる」と回答した割合が大きい。

### 関係人口(訪問系)の地域との関わりを継続したい理由

複数回答可

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



■趣味・消費型 ■就労型(テレワーク) ■参加・交流型 ■就労型(現地就労) ■直接寄与型

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

# (5)関係人口(訪問系)が地域との関わりを深めるために必要な要素

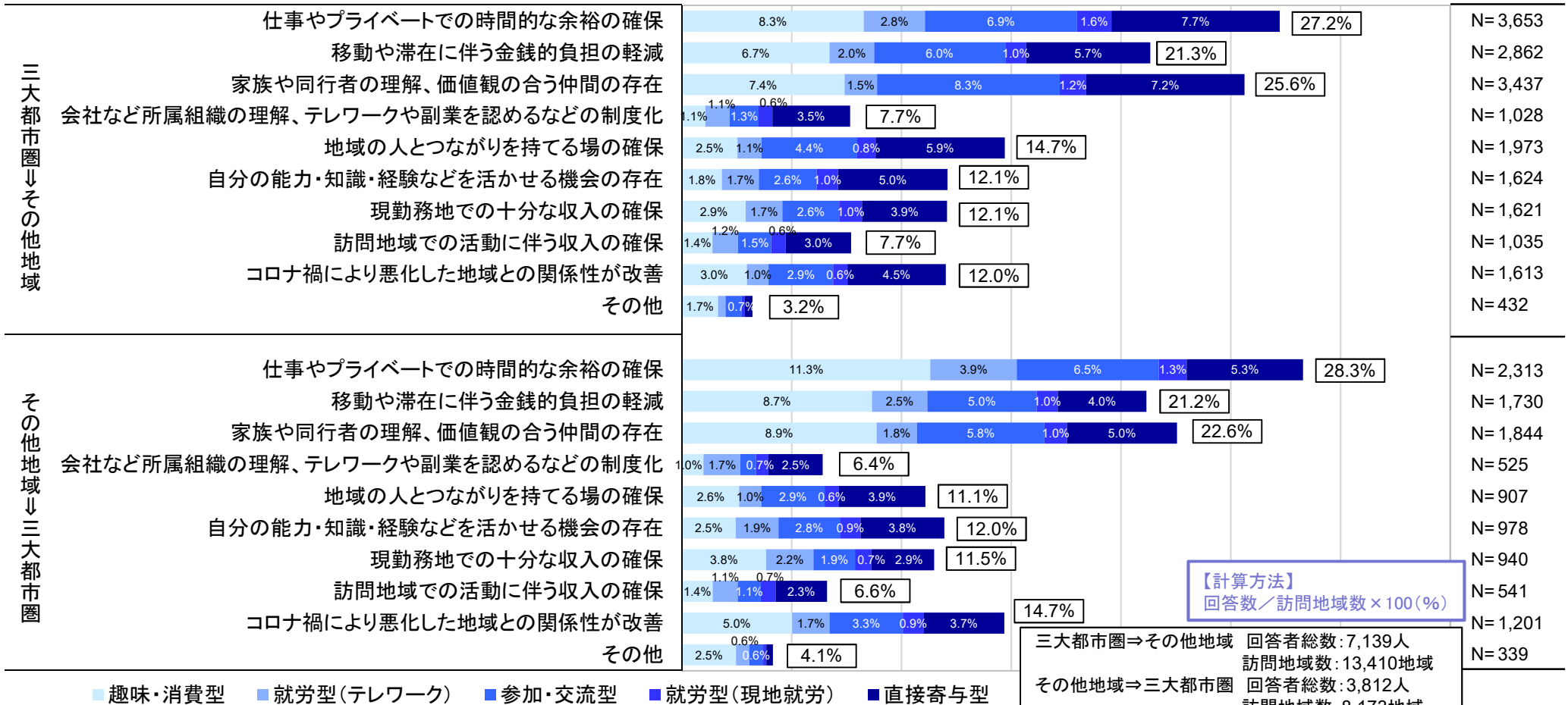
## 一 地域との関係性を深めるために必要なもの(三大都市圏⇄その他地域の関わり) 一

- 三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、その他地域から三大都市圏に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較して、地域との関係性を深める上で「地域の人とつながりを持てる場の確保」・「家族や同行者の理解、価値観の合う仲間の存在」が必要と回答する人の割合が大きい。

### 関係人口(訪問系)が地域との関係性を深めるために必要なもの

複数回答可

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0%



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

# (5)関係人口(訪問系)が地域との関わりを深めるために必要な要素

## — 関係人口(訪問系)が求める地域との多様な関わり(三大都市圏⇄その他地域の関わり) —

- 三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、その他地域から三大都市圏に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較して、「地域の人とのコミュニケーションを深めたい」・「地域のためになることにチャレンジしたい」等と回答する人が多く、地域との結びつき度の強い活動を求める人が多い傾向にある。

### 関係人口(訪問系)が求める地域との多様な関わり

複数回答可

【計算方法】  
回答数/訪問地域数×100(%)

